

案

これからの公共施設のあり方に関する市民アンケート 調査報告書

、なんだ かんた、



2025年11月

町田市

目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 第1章 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査名称 | 1 |
| 2. 調査目的 | 1 |
| 3. 調査項目 | 1 |
| 4. 調査設計 | 2 |
| 5. 回収結果 | 2 |
| 6. 地域区分 | 2 |
| 7. 報告書の見方 | 3 |
| 第2章 調査結果 | 4 |
| 1. 基本属性 | 4 |
| (1) 性別 | 4 |
| (2) 年代 | 6 |
| (3) 職業 | 8 |
| (4) 居住地域 | 9 |
| (5) 家族構成 | 10 |
| (6) 最寄り駅（最もよく利用する駅） | 11 |
| (7) 最近1年間の公共施設利用頻度 | 13 |
| 2. 公共施設の「より良いかたち」の実現に向けて | 16 |
| ■課題認識や方向性について | 16 |
| (1) 安全性確保を最優先とした公共施設の管理の必要性 | 18 |
| (2) 公共施設再編を進める必要性 | 20 |
| (3) 公共施設のあり方の柔軟な見直しの必要性 | 22 |
| (4) 身近な公共施設における地域拠点の役割維持の必要性 | 24 |
| (5) 時代に適応した将来につながるかたちへの変化 | 26 |
| 3. 公共施設再編の取り組みについて | 28 |
| ■公共施設の再編に関する方針への評価 | 28 |
| (1) 「複合化・多機能化」による維持管理費用の削減 | 30 |
| (2) 駅や交通利便性の高い地域へのサービス集約 | 32 |
| (3) 「長寿命化」による施設の長期維持 | 34 |
| (4) 「官民連携」によるサービスの効果的・効率的な提供 | 36 |
| (5) 市所有の土地・建物の効果的な利活用 | 38 |
| 4. 公共施設の“みらい”について | 40 |
| (1) 公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード | 41 |
| (2) 主要な駅周辺にあると良い公共施設 | 42 |
| (3) 地域拠点にあると良い機能・サービス | 47 |
| (4) 優先的に維持していく必要がある公共施設の機能・サービス | 50 |
| (5) 町田市の公共施設について | 54 |
| 資 料 編 | 55 |

第1章 調査の概要

1. 調査名称

これからの公共施設のあり方に関する市民アンケート

2. 調査目的

町田市では、「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」の2つの計画改定に向けて、検討を行っています。

「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」は、公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する方向性等を示している計画です。また、「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」は、「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に掲げる方向性を具体化する実行計画です。

これらの計画の改定にあたり、これからの公共施設のあり方等に関するニーズを把握することを目的として実施しました。

3. 調査項目

| 調査項目 | 調査内容 |
|-----------------------|--|
| 基本属性 | 性別、年代、職業、居住地、家族構成、最寄り駅(最もよく利用する駅)、最近1年間の公共施設利用頻度 |
| 公共施設の「より良いかたち」の実現に向けて | ■課題認識や方向性について (1)安全性確保を最優先とした公共施設の管理の必要性 (2)公共施設再編を進める必要性 (3)公共施設のあり方の柔軟な見直しの必要性 (4)身近な公共施設における地域拠点の役割維持の必要性 (5)時代に適応した将来につながるかたちへの変化 |
| 公共施設再編の取り組みについて | ■公共施設の再編に関する方針への評価 (1)「複合化・多機能化」による維持管理費用の削減 (2)駅や交通利便性の高い地域へのサービス集約 (3)「長寿命化」による施設の長期維持 (4)「官民連携」によるサービスの効果的・効率的な提供 (5)市所有の土地・建物の効果的な利活用 |
| 公共施設の“みらい”について | (1)公共施設の役割を考えるうえでの重要なキーワード (2)主要な駅周辺にあると良い公共施設 (3)地域拠点にあると良い機能・サービス (4)優先的に維持していく必要がある公共施設の機能・サービス (5)町田市の公共施設について(自由記述) |

4. 調査設計

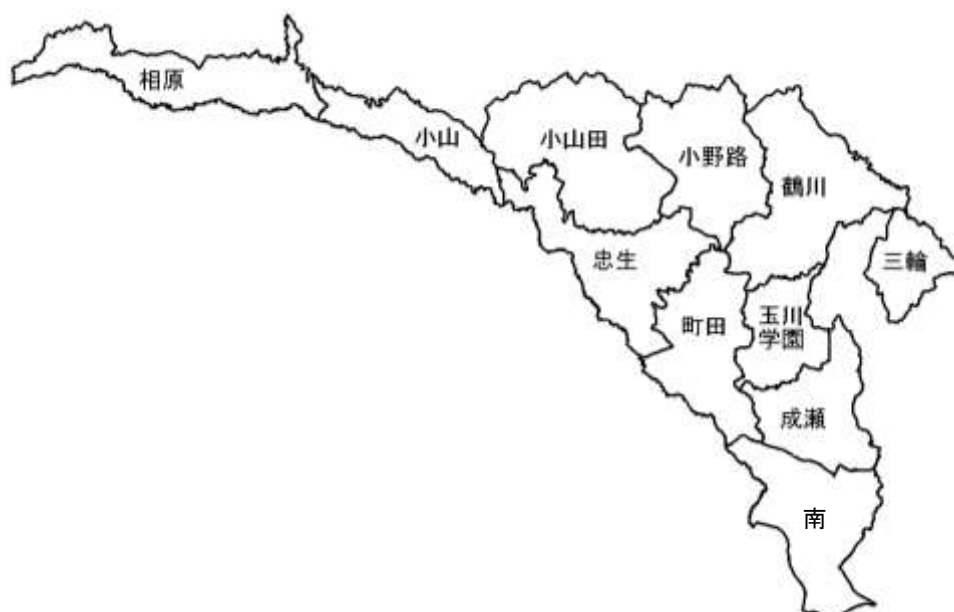
- (1) 調査地域 町田市全域
- (2) 調査対象 市内在住の15歳以上80歳未満の個人（2025年4月1日現在）
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布、郵送およびインターネットによる回収
- (6) 調査時期 2025年6月10日～6月30日

5. 回収結果

- (1) 調査件数 3,000件
- (2) 有効回収数 963件（郵送628件、インターネット335件）
- (3) 有効回収率 32.1%（郵送65.2%、インターネット34.8%）

6. 地域区分

居住地区別のデータは、以下の地域区分で集計、分析を行った。



| 地 区 | 町 名 (50音順) |
|---------|--|
| 相 原 | 相原町 |
| 小 山 | 小山町、小山ヶ丘 |
| 小 山 田 | 上小山田町、下小山田町、図師町 |
| 小 野 路 | 小野路町、野津田町 |
| 鶴 川 | 大蔵町、金井、金井ヶ丘、金井町、真光寺、真光寺町、鶴川、能ヶ谷、広袴、広袴町、薬師台 |
| 三 輪 | 三輪町、三輪緑山 |
| 忠 生 | 小山田桜台、木曽西、木曽東、木曽町、忠生、常盤町、根岸、根岸町、矢部町、山崎、山崎町 |
| 町 田 | 旭町、中町、原町田、本町田、藤の台、森野 |
| 玉 川 学 園 | 玉川学園、東玉川学園、南大谷 |
| 成 瀬 | 高ヶ坂、成瀬、成瀬が丘、成瀬台、西成瀬、南成瀬 |
| 南 | 小川、金森、金森東、つくし野、鶴間、南つくし野、南町田 |

7. 報告書の見方

- ① 表、グラフのnまたは（ ）内の数字は回答者数を示しており、設問の回答はすべてnを基数とした百分率（％）で表している。
- ② 回答の比率（％）は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100％にならない場合がある。
- ③ 回答を複数選択する設問では、数値の合計が100％を超える場合がある。
- ④ 本文や図表中の選択肢・凡例の表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑤ n（回答者数）が30未満の場合は、回答（選択肢）ごとの比率に差が生じやすく、また標本誤差が大きくなるため、回答の分析で触れていない。

○標本誤差について

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団の大きさ
n = 回答数
P = 回答の比率

<標本誤差早見表>

今回の調査対象となった15～79歳の町田市民の人口は336,416人（※2025年4月1日現在）であったので、それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

(N=336,416)

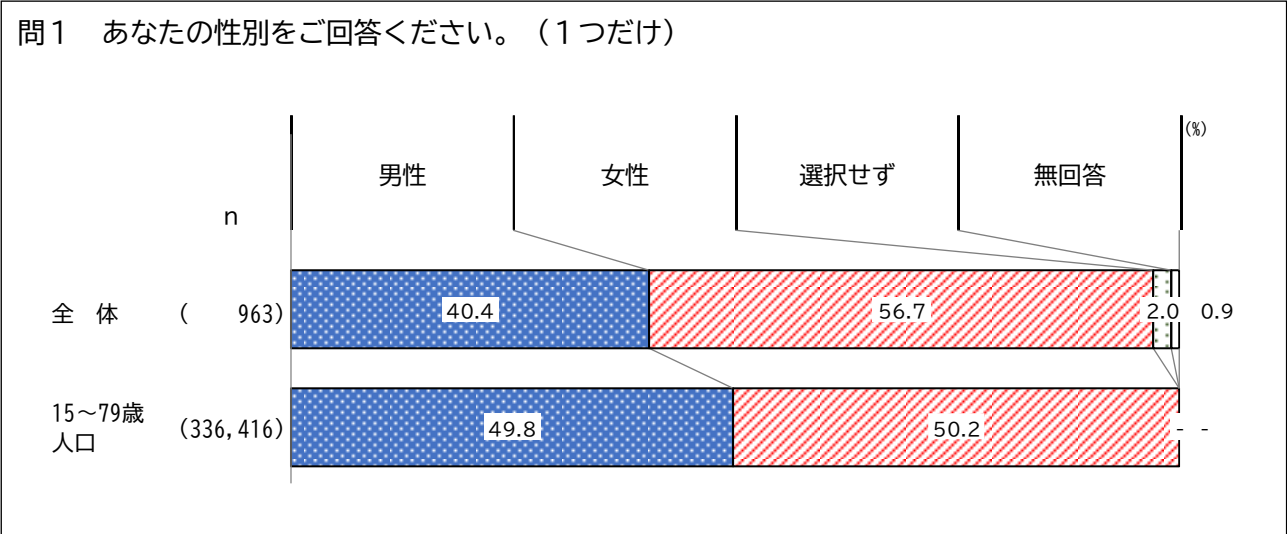
| 回答比率 (P) 回答数 (n) | 10% または90% | 20% または80% | 30% または70% | 40% または60% | 50% |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| 963 | ± 1.9% | ± 2.6% | ± 2.9% | ± 3.2% | ± 3.2% |
| 800 | ± 2.1% | ± 2.8% | ± 3.2% | ± 3.5% | ± 3.5% |
| 600 | ± 2.4% | ± 3.3% | ± 3.7% | ± 4.0% | ± 4.1% |
| 400 | ± 3.0% | ± 4.0% | ± 4.6% | ± 4.9% | ± 5.0% |
| 200 | ± 4.2% | ± 5.7% | ± 6.5% | ± 6.9% | ± 7.1% |
| 100 | ± 6.0% | ± 8.0% | ± 9.2% | ± 9.8% | ± 10.0% |
| 50 | ± 8.5% | ± 11.3% | ± 13.0% | ± 13.9% | ± 14.1% |

例えば、ある設問の回答が963人であり、その設問の選択肢の回答比率が40.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高で±3.2%である。

第2章 調査結果

1. 基本属性

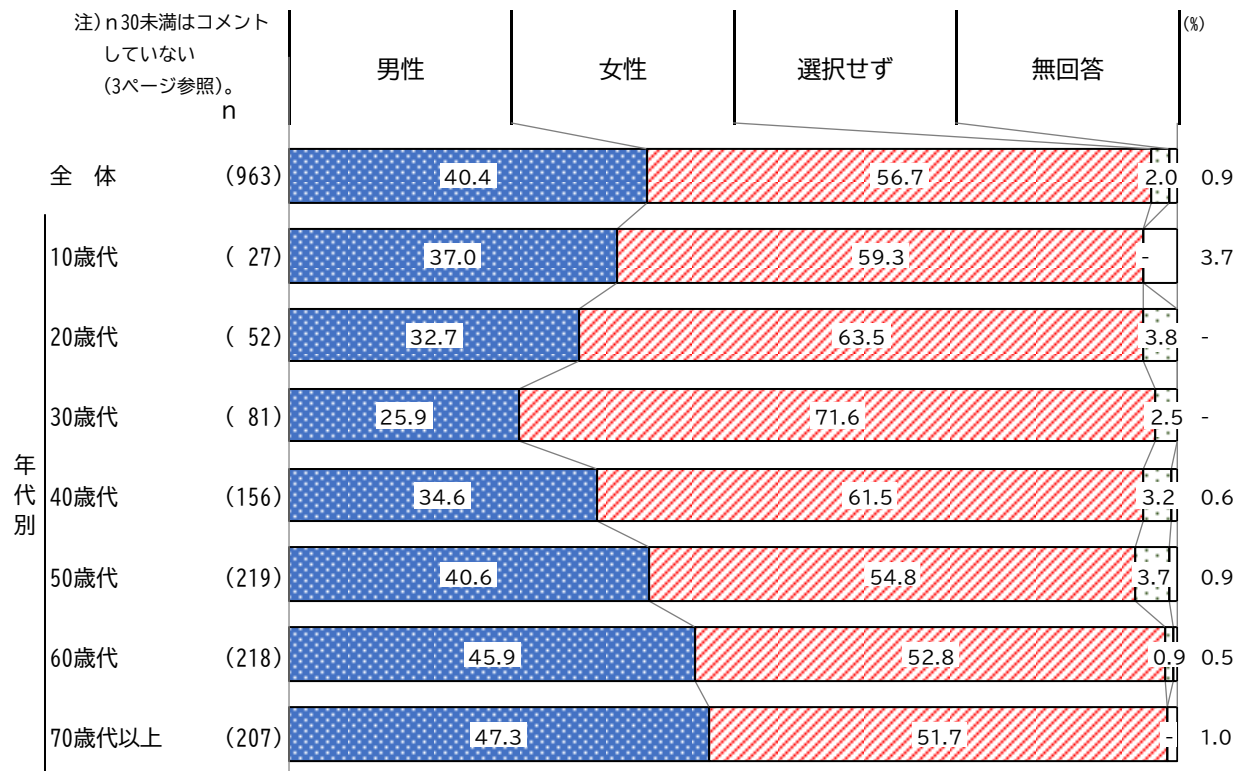
(1) 性別



- ・「男性」が40.4%、「女性」が56.7%、「選択せず」が2.0%となっている。
- ・町田市の15～79歳の人口（2025年4月1日現在）と比較すると、人口構成比より「男性」が9.4ポイント低く、「女性」が6.5ポイント高くなっている。

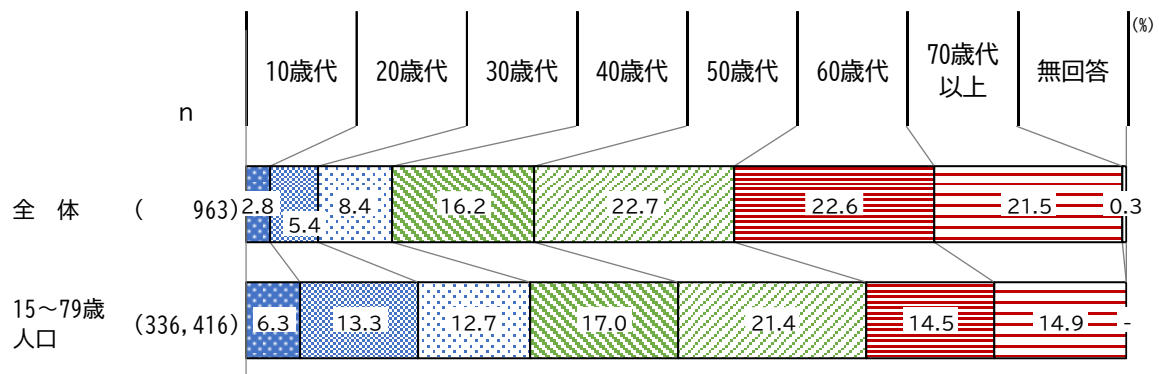
◆年代別

- ・年代別の回答割合について、すべての年代で「女性」の方が「男性」より高い。特に、30歳代は「女性」が71.6%を占めている。



(2) 年代

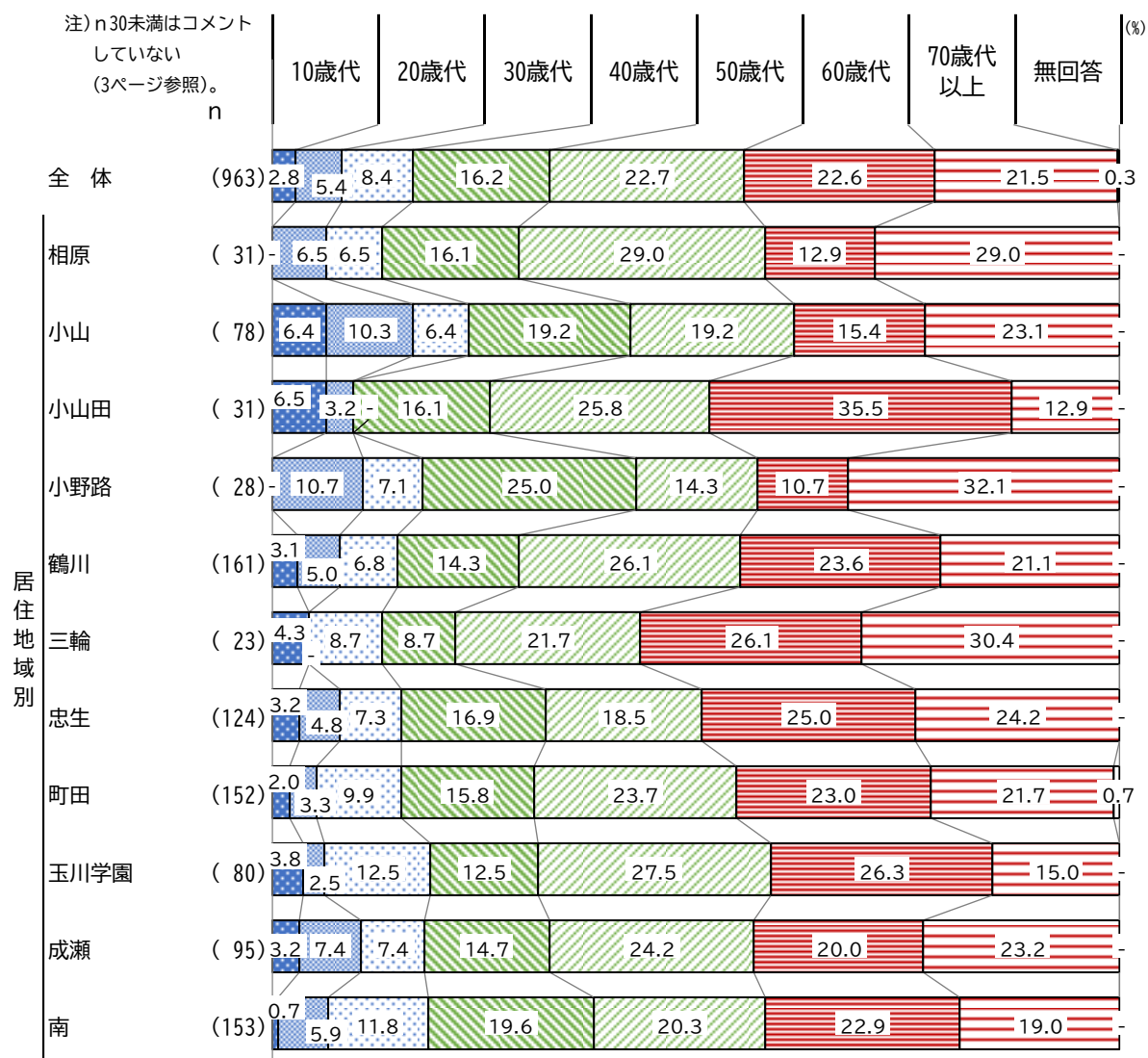
問2 あなたの年齢の年代をご回答ください。(1つだけ)



- ・「50歳代」(22.7%)、「60歳代」(22.6%)、「70歳代以上」(21.5%)が20%以上で高くなっている。アンケート回答者の約67%が50歳代以上の方からの回答となっている。
- ・町田市の15~79歳の人口と比較すると、「60歳代」は人口構成比より8.1ポイント高く、「70歳代以上」は6.6ポイント高い。一方、「20歳代」は人口構成比より7.9ポイント低くなっている。

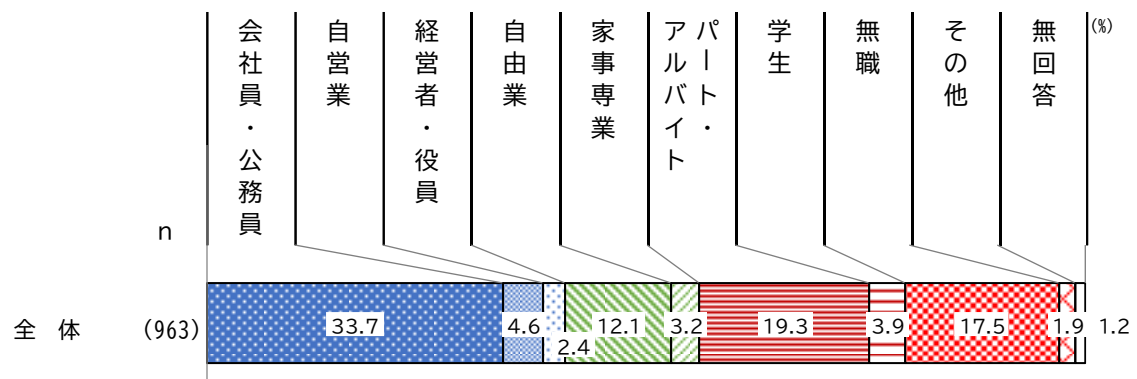
◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、10歳代は小山田地区（6.5%）と小山地区（6.4%）が6%台。
- ・20歳代は小山地区が10.3%。
- ・30歳代は玉川学園地区（12.5%）と南地区（11.8%）が11%以上。
- ・40歳代は南地区（19.6%）と小山地区（19.2%）が19%台。
- ・50歳代は相原地区が29.0%。
- ・60歳代は小山田地区が35.5%。
- ・70歳代以上は相原地区が29.0%。



(3) 職業

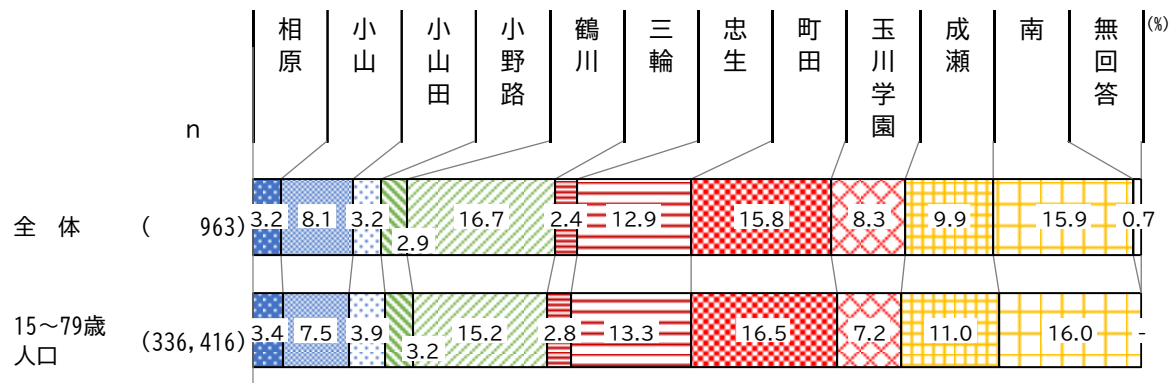
問3 あなたの職業をご回答ください。(1つだけ)



- ・「会社員・公務員」(33.7%)が最も高く、次いで「パート・アルバイト」(19.3%)、「無職」(17.5%)が高くなっている。

(4) 居住地域

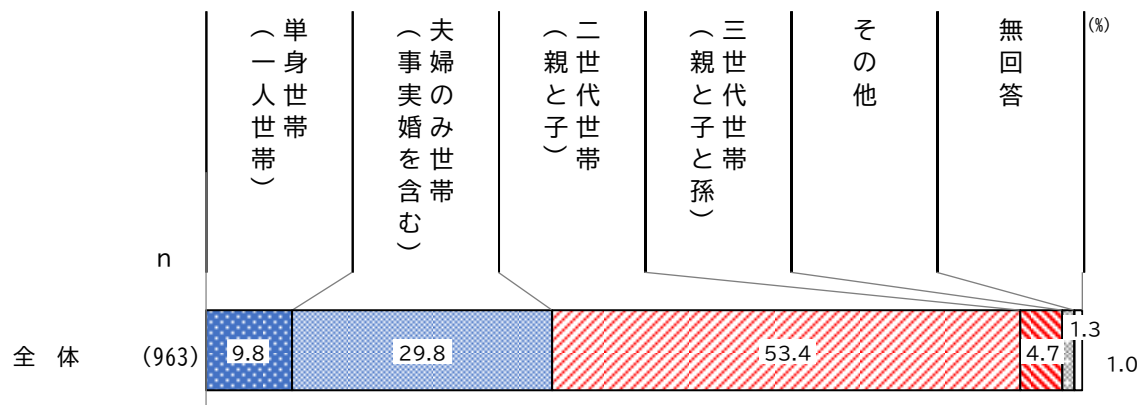
問4 あなたのお住まい（町名）をご回答ください。（50音順）（1つだけ）



- ・「鶴川」（16.7%）が最も高く、次いで「南」（15.9%）、「町田」（15.8%）が高くなっている。
- ・町田市の15～79歳の人口と比較すると、傾向に大きな差はみられない。

(5) 家族構成

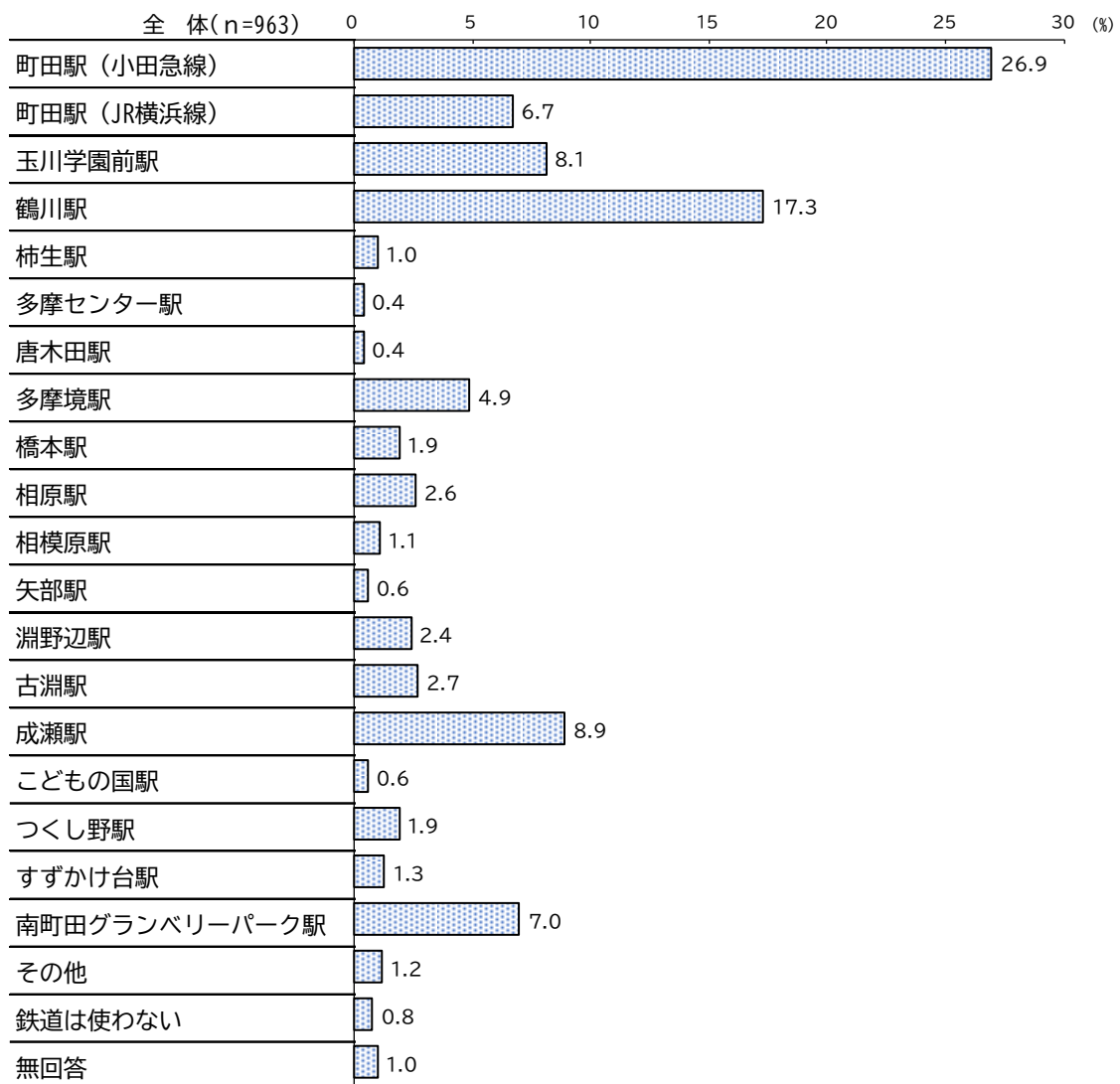
問5 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあたりますか。（1つだけ）



- ・「二世代世帯（親と子）」（53.4%）が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯（事実婚を含む）」（29.8%）が高くなっている。「単身世帯（一人世帯）」も9.8%となっている。

(6) 最寄り駅（最もよく利用する駅）

問4 あなたのご自宅の最寄り駅をご回答ください。最寄り駅と電車に乗る際によく利用する駅が異なる場合は、最もよく利用する駅をご回答ください。（1つだけ）



- ・「町田駅（小田急線）」（26.9%）が最も高い。以下、「鶴川駅」（17.3%）、「成瀬駅」（8.9%）、「玉川学園前駅」（8.1%）、「南町田グランベリーパーク駅」（7.0%）などと続く。

◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、相原地区は「相原駅」（77.4％）が最も高い。
- ・小山地区は「多摩境駅」（60.3％）が最も高い。
- ・小山田地区は「町田駅（小田急線）」（41.9％）が最も高く、次いで「淵野辺駅」（22.6％）が高い。
- ・鶴川地区は「鶴川駅」（84.5％）が最も高い。
- ・忠生地区、町田地区は「町田駅（小田急線）」（忠生58.1％、町田76.3％）が最も高い。
- ・玉川学園地区は「玉川学園前駅」（75.0％）が最も高い。
- ・成瀬地区は「成瀬駅」（64.2％）が最も高い
- ・南地区は「南町田グランベリーパーク駅」（43.8％）が最も高く、次いで「成瀬駅」（15.7％）が高くなっている。

(%)

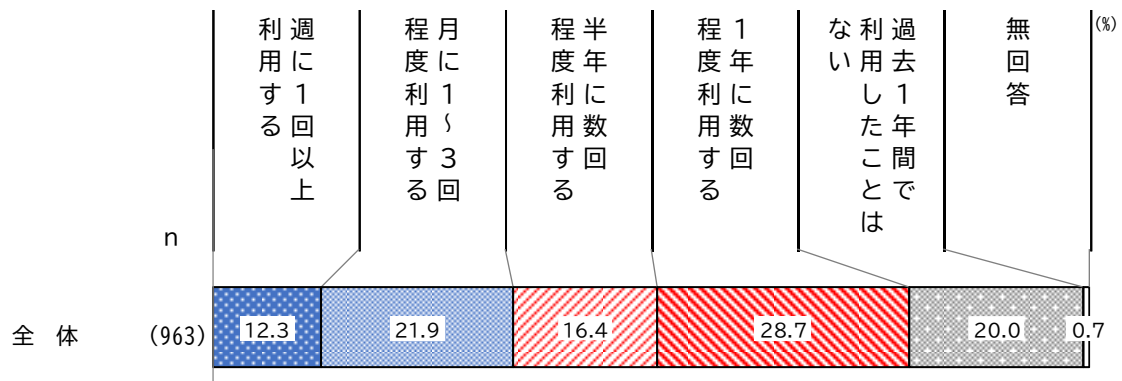
| 注) n30未満は コメントしていない (3ページ参照)。 | n | 町田駅 (小田急線) | 町田駅 (横浜線) | 玉川学園前駅 | 鶴川駅 | 柿生駅 | 多摩センター駅 | 唐木田駅 | 多摩境駅 | 橋本駅 | 相原駅 | 相模原駅 |
|-------------------------------------|------|---------------|--------------|--------|------|------|---------|------|------|------|------|------|
| 全 体 | 963 | 26.9 | 6.7 | 8.1 | 17.3 | 1.0 | 0.4 | 0.4 | 4.9 | 1.9 | 2.6 | 1.1 |
| 地区 | 相原 | 31 | - | - | - | - | - | - | - | 22.6 | 77.4 | - |
| | 小山 | 78 | 1.3 | - | - | - | 1.3 | - | 60.3 | 14.1 | - | 14.1 |
| | 小山田 | 31 | 41.9 | 6.5 | - | - | 3.2 | 12.9 | - | - | - | - |
| | 小野路 | 28 | 25.0 | 7.1 | - | 64.3 | 3.6 | - | - | - | - | - |
| | 鶴川 | 161 | 4.3 | - | 5.0 | 84.5 | 1.9 | 0.6 | - | - | - | - |
| | 三輪 | 23 | - | - | - | 56.5 | 30.4 | - | - | - | - | - |
| | 忠生 | 124 | 58.1 | 7.3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 町田 | 152 | 76.3 | 15.1 | 3.3 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 玉川学園 | 80 | 16.3 | 3.8 | 75.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 成瀬 | 95 | 12.6 | 7.4 | 5.3 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 南 | 153 | 9.8 | 12.4 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(%)

| 注) n30未満は コメントしていない (3ページ参照)。 | n | 矢部駅 | 淵野辺駅 | 古淵駅 | 成瀬駅 | こどもの国駅 | つくし野駅 | すずかけ台駅 | 南町田グランベリーパーク駅 | その他 | 鉄道は使わない | 無回答 |
|-------------------------------------|------|-----|------|------|------|--------|-------|--------|---------------|------|---------|-----|
| 全 体 | 963 | 0.6 | 2.4 | 2.7 | 8.9 | 0.6 | 1.9 | 1.3 | 7.0 | 1.2 | 0.8 | 1.0 |
| 地区 | 相原 | 31 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 小山 | 78 | 5.1 | - | - | - | - | - | - | 2.6 | 1.3 | - |
| | 小山田 | 31 | 3.2 | 22.6 | - | - | - | - | - | 3.2 | 6.5 | - |
| | 小野路 | 28 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 鶴川 | 161 | - | - | - | 0.6 | - | - | - | 3.1 | - | - |
| | 三輪 | 23 | - | - | - | 4.3 | - | - | - | - | 4.3 | 4.3 |
| | 忠生 | 124 | 0.8 | 12.9 | 18.5 | - | - | - | - | - | 0.8 | 1.6 |
| | 町田 | 152 | - | - | 2.0 | - | - | - | - | - | 0.7 | 2.6 |
| | 玉川学園 | 80 | - | - | - | 1.3 | 1.3 | - | - | - | 2.5 | - |
| | 成瀬 | 95 | - | - | - | 64.2 | 3.2 | 4.2 | - | 3.2 | - | - |
| | 南 | 153 | - | - | - | 15.7 | - | 9.2 | 8.5 | 43.8 | - | 0.7 |

(7) 最近1年間公共施設利用頻度

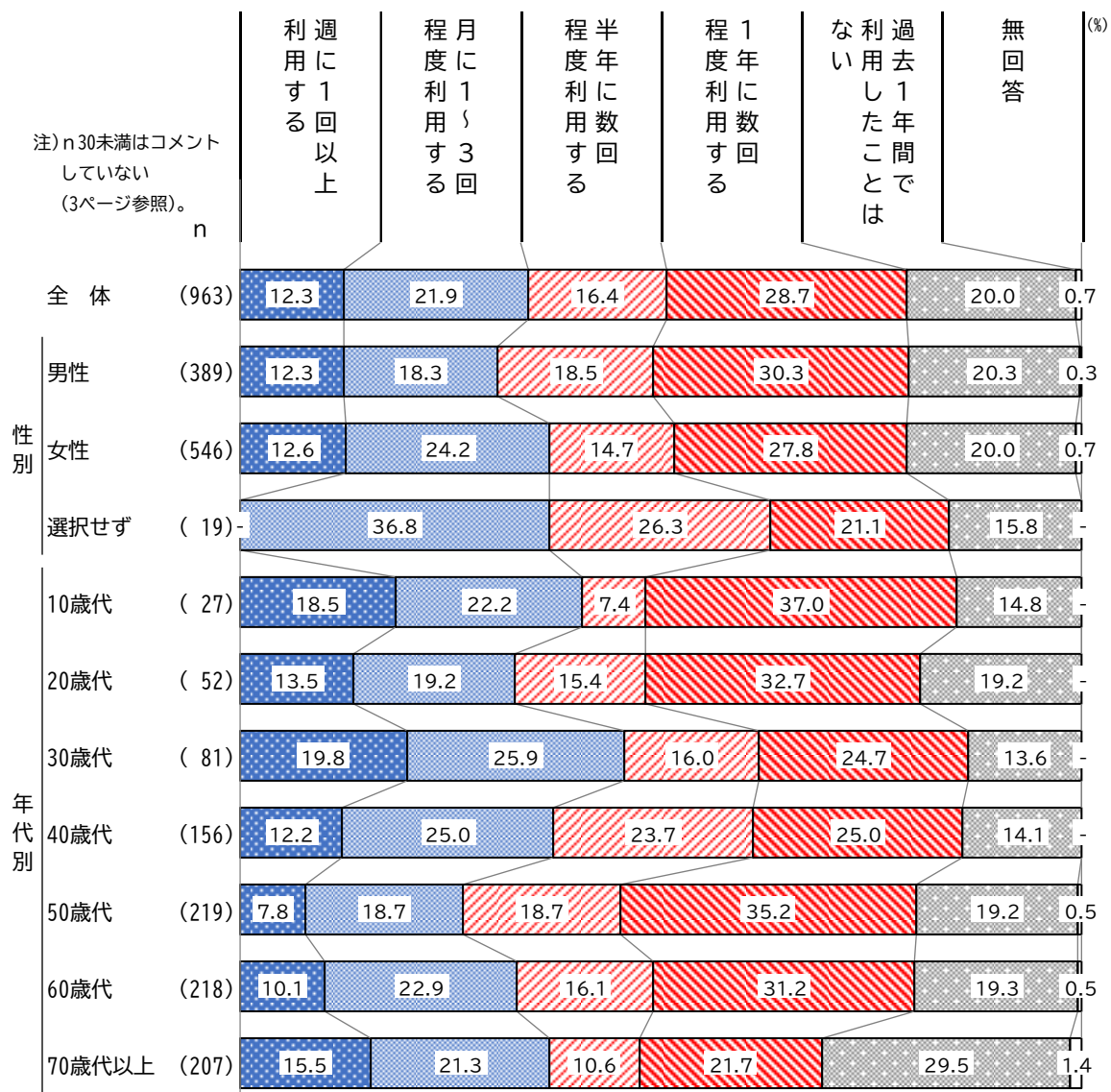
問7 あなたは町田市の公共施設をどの程度利用していますか。概ね最近1年間程度の状況でご回答ください。(1つだけ)



- ・「1年に数回程度利用する」が28.7%で最も高い。次いで「月に1～3回程度利用する」(21.9%)、「過去1年間で利用したことはない」(20.0%)が20%以上で続いている。
- ・「週に1回以上利用する」(12.3%)と「月に1～3回程度利用する」(21.9%)を合算すると、『月に1回以上利用する』が34.2%となる。

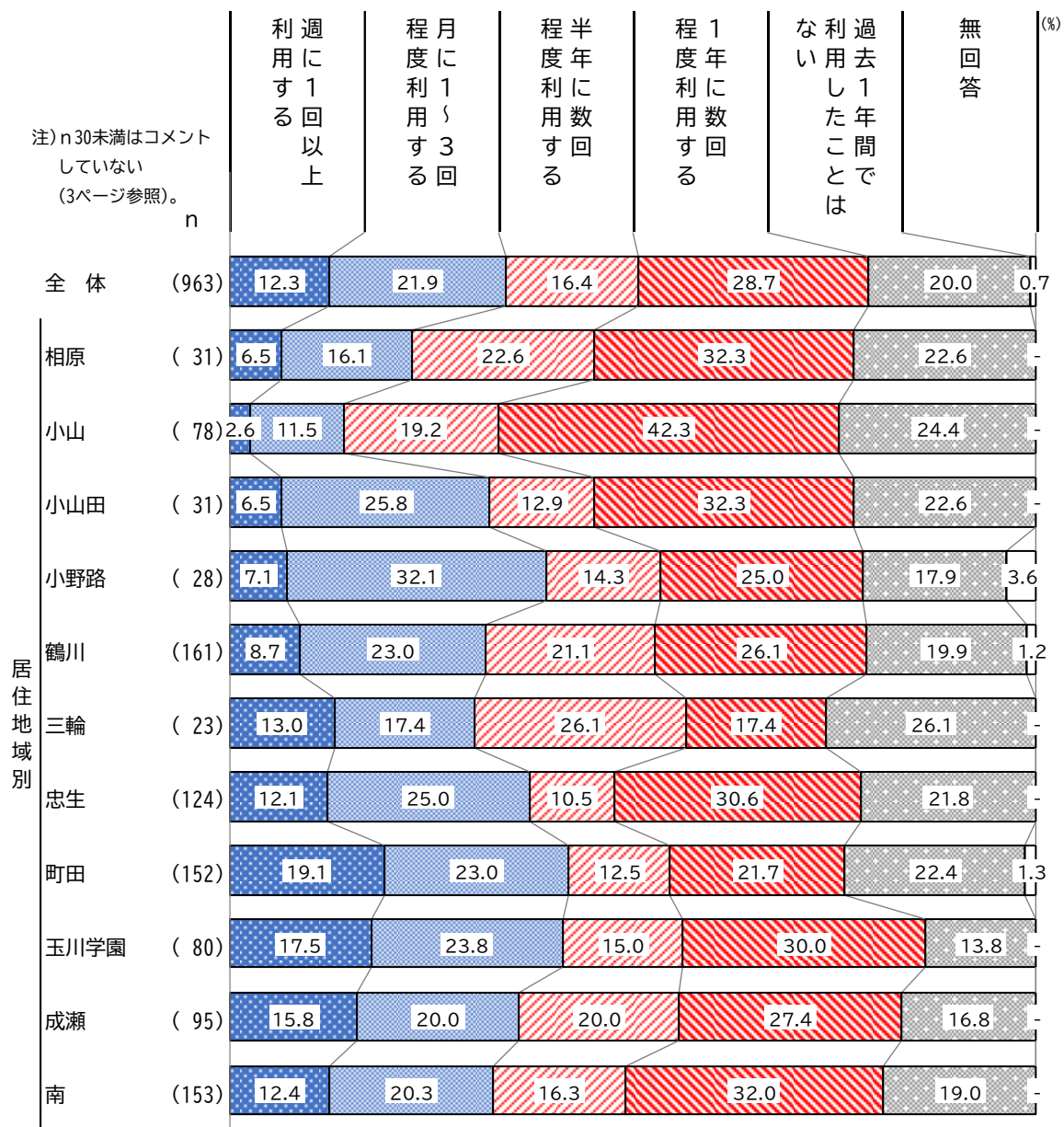
◆性別、年代別

- ・性別でみると、「週に1回以上利用する」と「過去1年間で利用したことはない」は男女間で大差はない。しかし、「月に1～3回程度利用する」は女性（24.2%）の方が男性（18.3%）より5.9ポイント高く、女性の方が若干利用頻度は高い。
- ・年代別でみると、「過去1年間で利用したことはない」は30歳代以降は年代が上がるにつれ高くなっており、最も高いのは70歳代以上（29.5%）で、最も低い30歳代（13.6%）より15.9ポイント高くなっている。
- ・他の年代と比べ、30歳代は「週に1回以上利用する」（19.8%）と「月に1～3回程度利用する」（25.9%）が高く、『月に1回以上利用する』が45.7%となる。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「週に1回以上利用する」は町田地区が19.1%で最も高くなっている。次いで玉川学園地区が17.5%。この2地区は、「月に1～3回程度利用する」も各23%台（町田地区23.0%、玉川学園地区23.8%）。『月に1回以上利用する』が40%台（町田地区42.1%、玉川学園地区41.3%）となる。
- ・小山地区は「1年に数回程度利用する」が42.3%で最も高くなっている。



2. 公共施設の「より良いかたち」の実現に向けて

■課題認識や方向性について

市は、公共施設・公共空間の「より良いかたち」の実現に向けて、公共施設の再編などに取り組んでいます。そこで、以下の説明をご覧ください、公共施設・公共空間の「より良いかたち」の実現に向けた取り組みの方向性等に関するご質問へご回答ください。

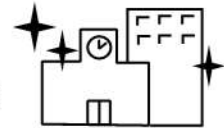
公共施設の「より良いかたち」の実現に向けて

▶ 進む 公共施設の老朽化

1970
年代
前後

高度経済成長期 中、
急激な 人口増加 ↗

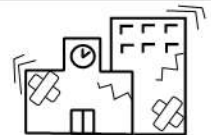
学校をはじめとした
多くの公共施設 を整備



これ
から

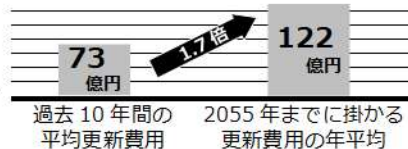
厳しい財政状況 中、
人口減少 局面へ ↘

多くの公共施設の 老朽化
が進み 更新時期 が到来



▶ 維持管理・更新に掛かる 費用不足

公共施設の
維持管理・更新費用
が 増大



今ある 全ての公共施設
をそのまま 維持 して
いくことは できない



▶ 技術進歩 や多様な 官民連携 の進展

AI、ICT、ロボットなど
目覚ましい テクノロジーの進化
民間事業者、NPO、地域団体など、
多様な主体との連携 が進展

手続きのデジタル化、民間ノウハウの活用などにより
より 便利 で 質の高い サービス、
より 効率的 なサービスの
提供が実現可能に

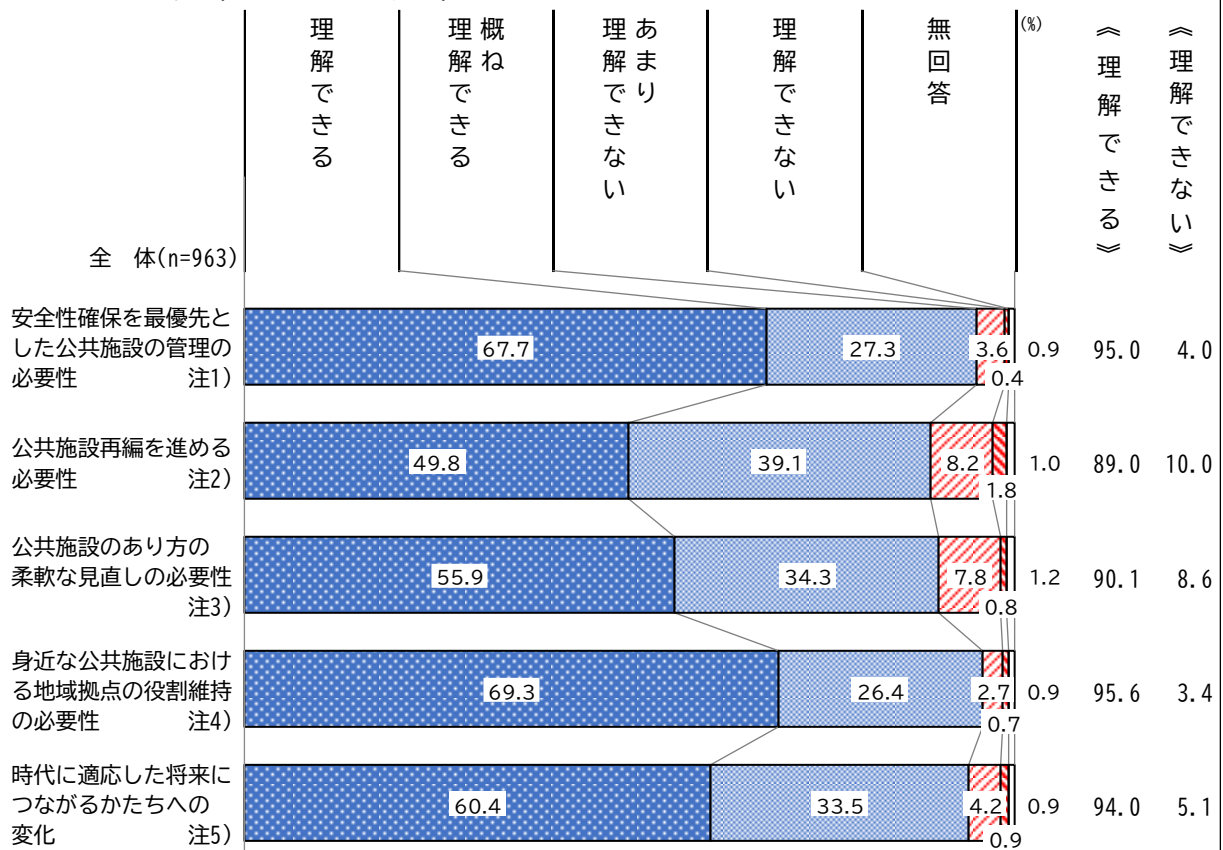


▶ 「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指す

町田市では、公共施設の更新時期にあわせた再編を
新たな価値創出 の チャンス と捉え、
単に施設を減らし コストダウン を図るだけではなく、
これまでの 価値 や 資源、想い を継承しながらも、
時代に適応 した将来につながるかたちへ
変えていきます。



問8 「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現に向けた以下の課題認識や方向性について、どう思いますか。問8-1から問8-5について、あなたの考えに最も近い選択肢をそれぞれお選びください。（それぞれ1つずつ）



※課題認識や方向性の詳細

- 注1) 誰もが安心して公共施設を利用できるよう、重大事故の未然防止など、安全性の確保を最優先として、公共施設の管理する必要がある。
- 注2) 公共施設を多く整備した高度経済成長期の頃とは大きく異なり、かつてのように莫大な更新費用を捻出することが困難な中でも、安全性を確保し、公共施設を健全に管理するため、再編を進める必要がある。
- 注3) 公共施設の再編にあたっては、AI、ロボットなどのテクノロジーの進化や、コロナ禍を契機としたライフスタイル等の変化などを踏まえ、公共施設のあり方を柔軟に見直していく必要がある。
- 注4) 災害に強いまちづくりや、豊かな地域社会の実現のため、小・中学校といった身近な公共施設における地域拠点としての役割は、維持していく必要がある。
- 注5) 単に施設を減らしコストダウンを図るだけではなく、これまでの価値や資源、想いを継承しながらも、時代に適応した将来につながるかたちへ変えていく。

・「理解できる」と「概ね理解できる」を合算した《理解できる》（以下、「《理解できる》」という）をみると、「地域拠点の役割維持の必要性」（95.6%）、「安全性確保での管理の必要性」（95.0%）が95%以上となっている。この2項目は「理解できる」が60%台後半であり、且つ、「あまり理解できない」と「理解できない」を合算した《理解できない》（以下、「《理解できない》」という）が3～4%台である。

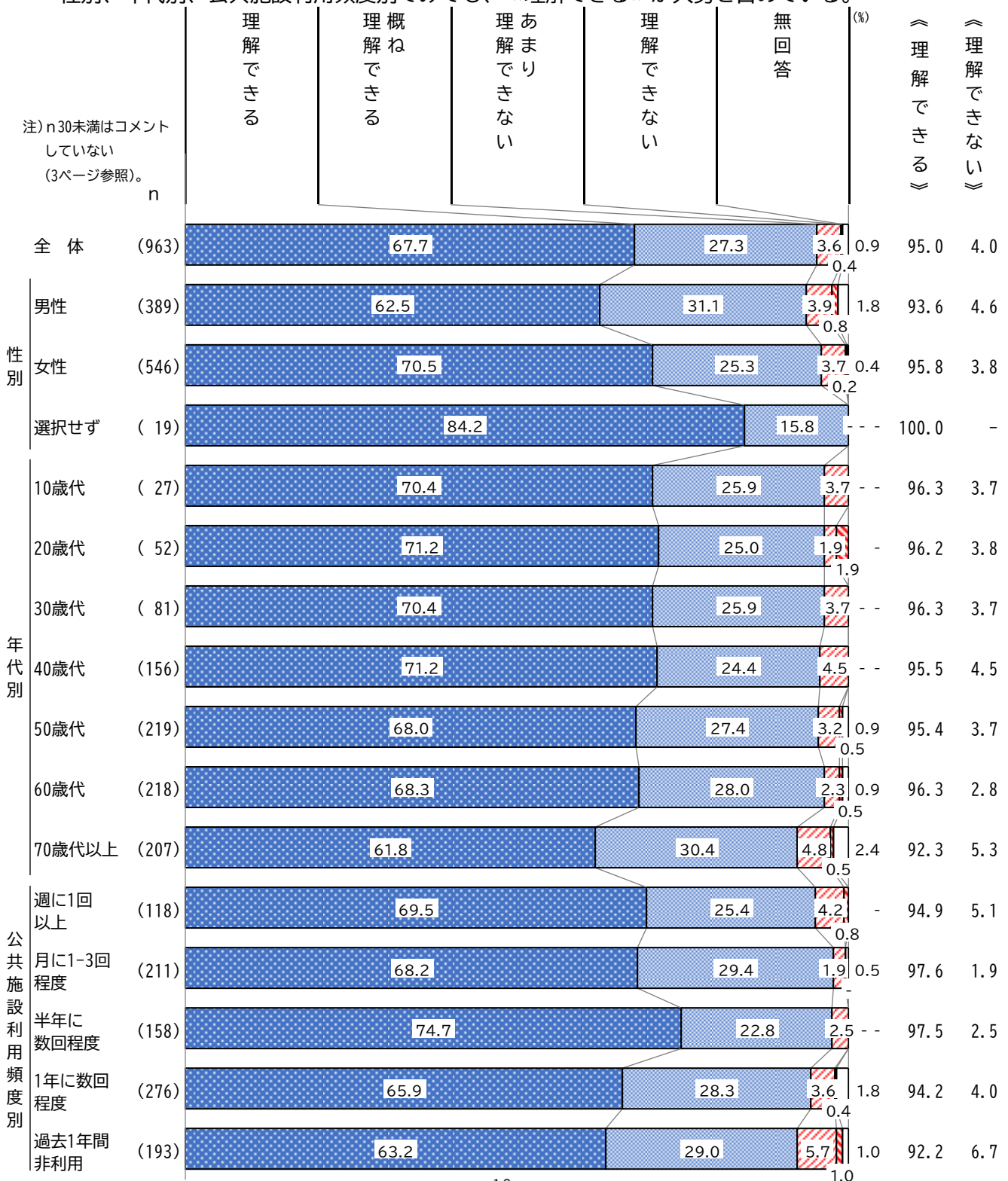
・「再編を進める必要性」は、《理解できる》（89.0%）が唯一90%未満であり、《理解できない》は10.0%で最も高くなっている。

(1) 安全性確保を最優先とした公共施設の管理の必要性

誰もが安心して公共施設を利用できるよう、重大事故の未然防止など、安全性の確保を最優先として、公共施設を管理する必要がある。

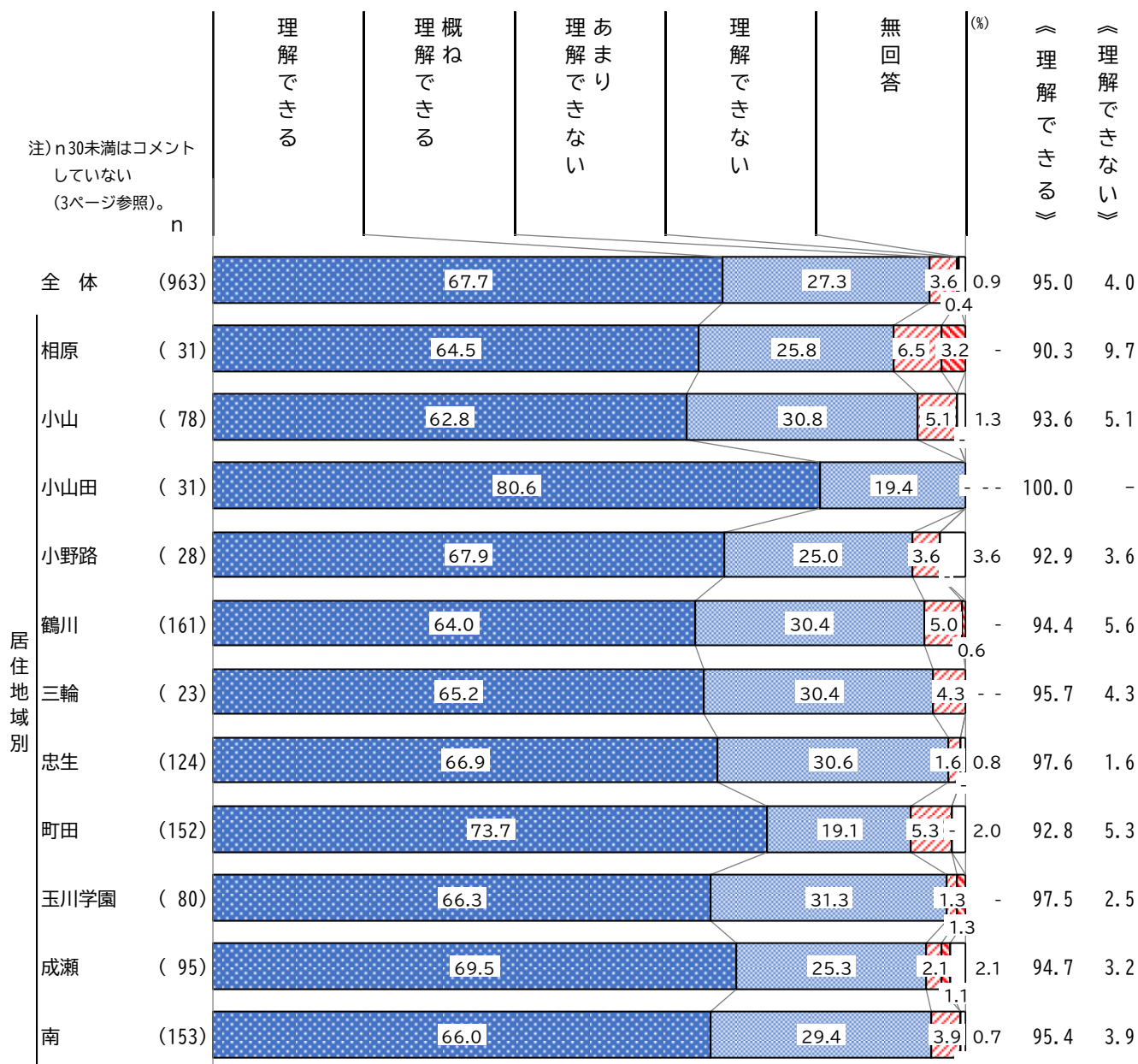
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「理解できる」は男性が93.6%、女性が95.8%となっている。
- ・年代別でみると、「理解できる」は60歳代以下が95～96%で推移しているのに対し、70歳代以上は92.3%となっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「理解できる」は月に1～3回程度（97.6%）と半年に数回程度（97.5%）が他層より高くなっている。
- ・性別、年代別、公共施設利用頻度別でみても、「理解できる」が大勢を占めている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、小山田地区は「理解できる」が80.6%で最も高く、《理解できる》は100.0%となっている。
- ・相原地区は《理解できない》が9.7%で最も高くなっている。

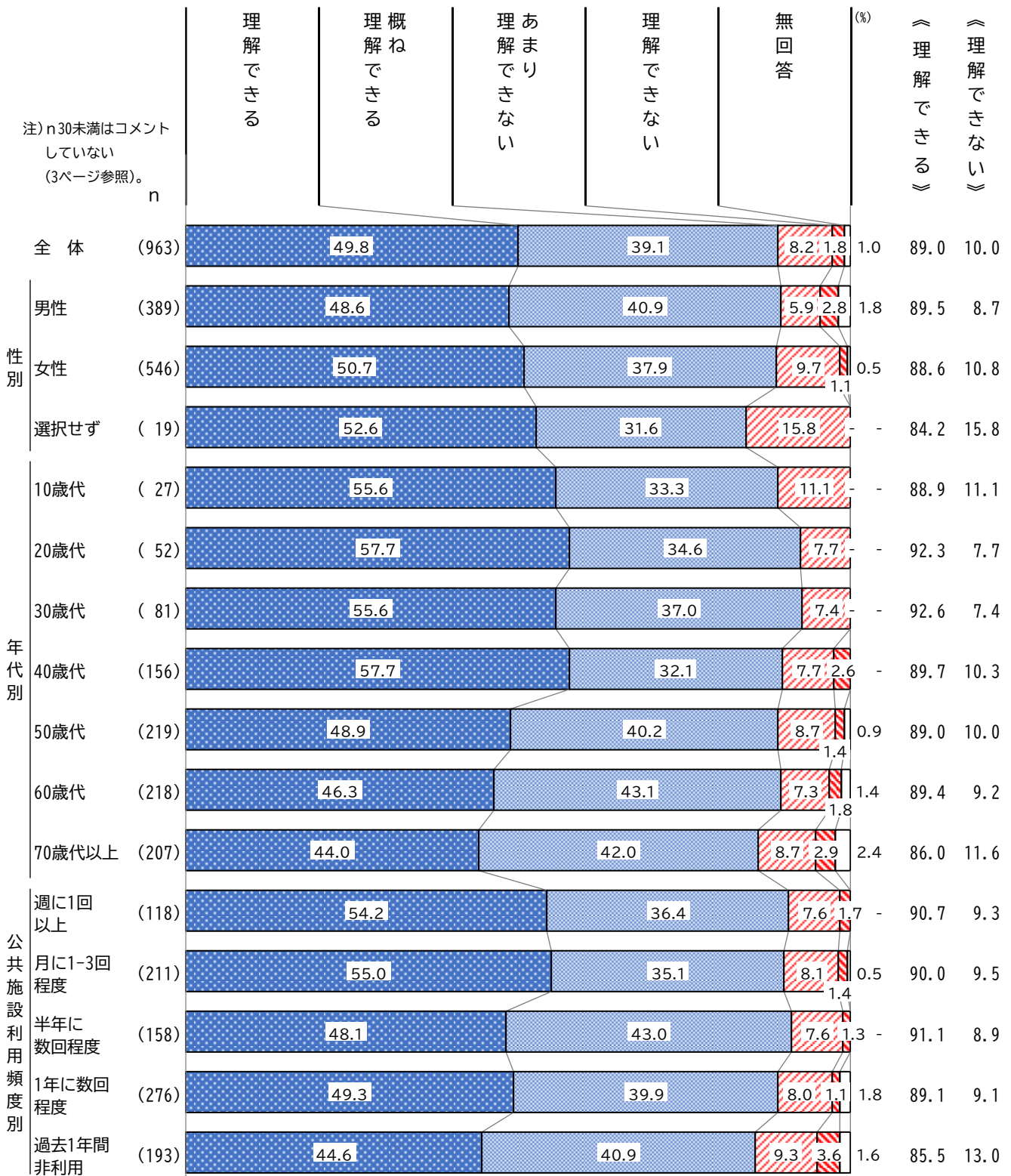


(2) 公共施設再編を進める必要性

公共施設を多く整備した高度経済成長期の頃とは大きく異なり、かつてのように莫大な更新費用を捻出することが困難な中でも、安全性を確保し、公共施設を健全に管理するため、再編を進める必要がある。

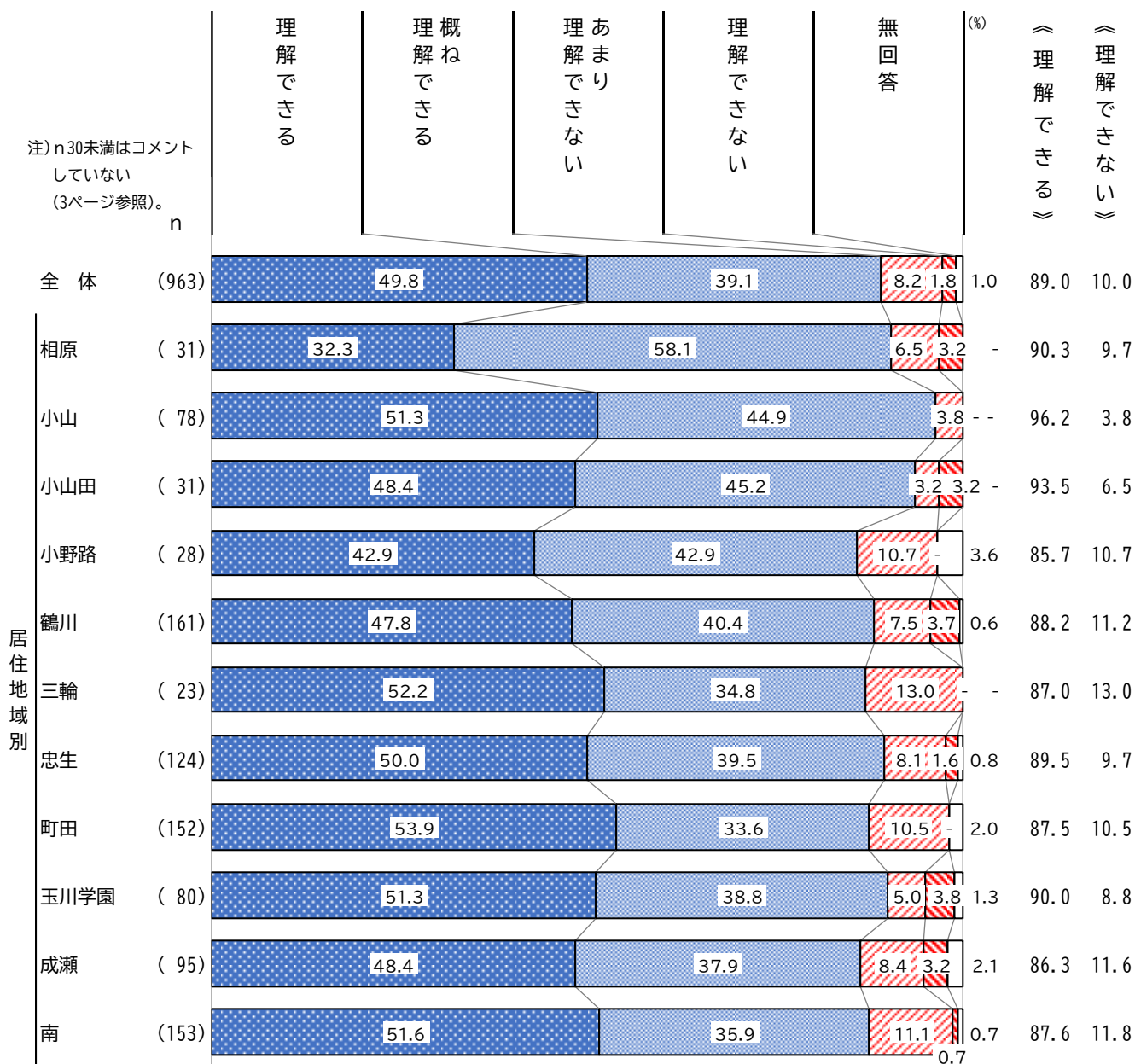
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「理解できる」は男性が89.5%、女性が88.6%となっている。
- ・年代別でみると、「理解できる」は20歳代（92.3%）、30歳代（92.6%）が92%台となっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、過去1年間非利用は「理解できる」が85.5%で最も低く、「理解できない」が13.0%で最も高い。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「理解できる」は町田地区が53.9%で最も高く、最も低い相原地区(32.3%)より21.6ポイント高くなっている。しかし、町田地区の「概ね理解できる」は33.6%で最も低く、「理解できる」は87.5%に止まっている。
- ・小山地区は「理解できる」が96.2%で最も高く、「理解できない」が3.8%で最も低い。
- ・南地区は「理解できない」が11.8%で最も高くなっている。



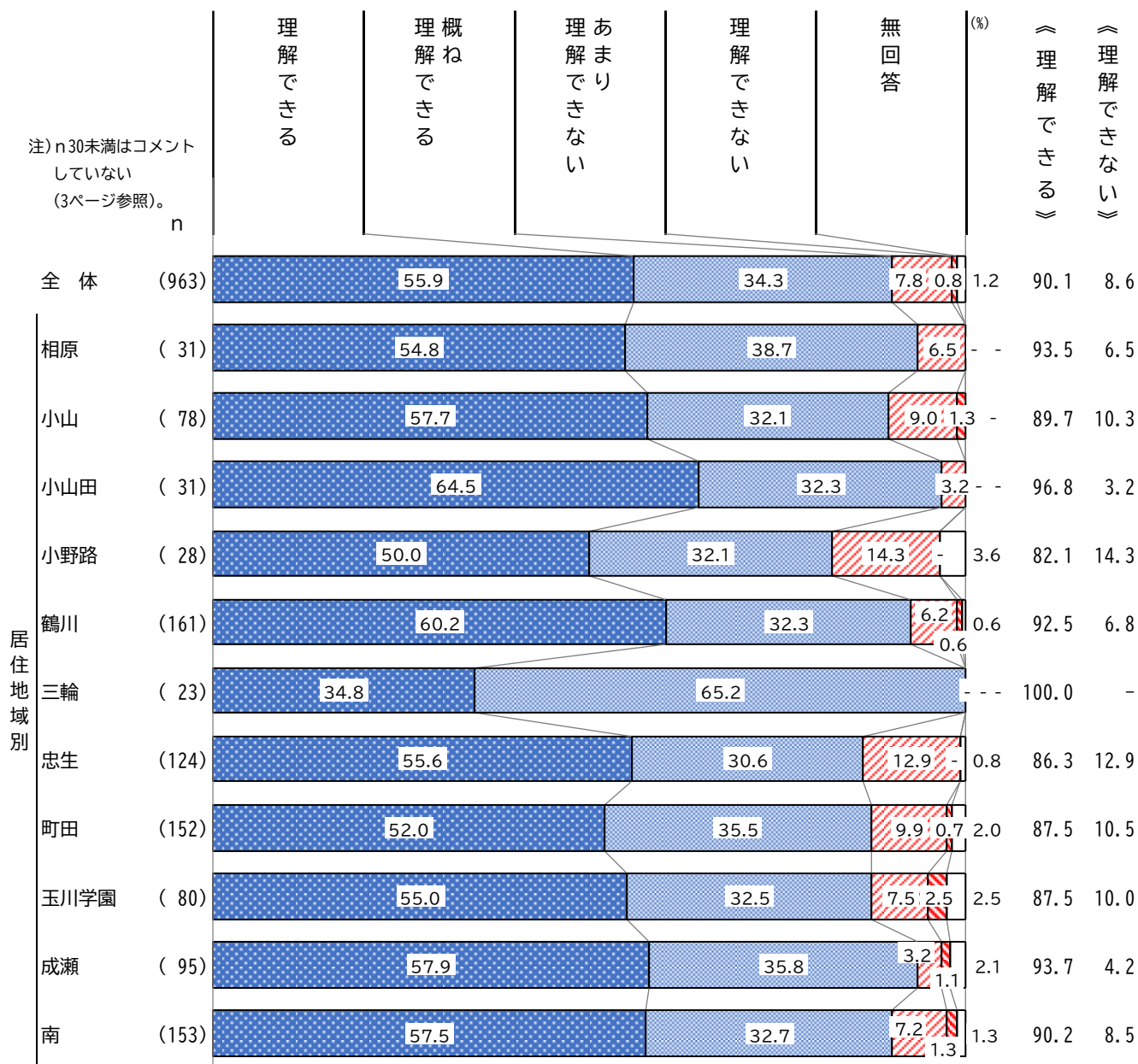
公共施設の再編にあたっては、ＡＩ、ロボットなどのテクノロジーの進化や、コロナ禍を契機としたライフスタイル等の変化などを踏まえ、公共施設のあり方を柔軟に見直していく必要がある。

- ・性別でみると、「理解できる」は男性が90.2%、女性が90.3%となっている。
- ・年代別でみると、「理解できる」は20歳代が75.0%で最も高く、60歳代が46.3%で最も低い。
- ・「理解できる」は30歳代が96.3%で最も高く、70歳代以上が81.2%で最も低い。
- ・公共施設利用頻度別でみると、半年に数回程度は「理解できる」が94.9%で最も高く、「理解できない」が5.1%で最も低くなっており、他層より評価が高い。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、小山田地区は「理解できる」が64.5%で最も高くなっており、「《理解できる》」も96.8%で最も高い。「《理解できない》」は3.2%で最も低い。
- ・忠生地区は「《理解できる》」が86.3%で最も低く、「あまり理解できない」が12.9%で最も高くなっている。



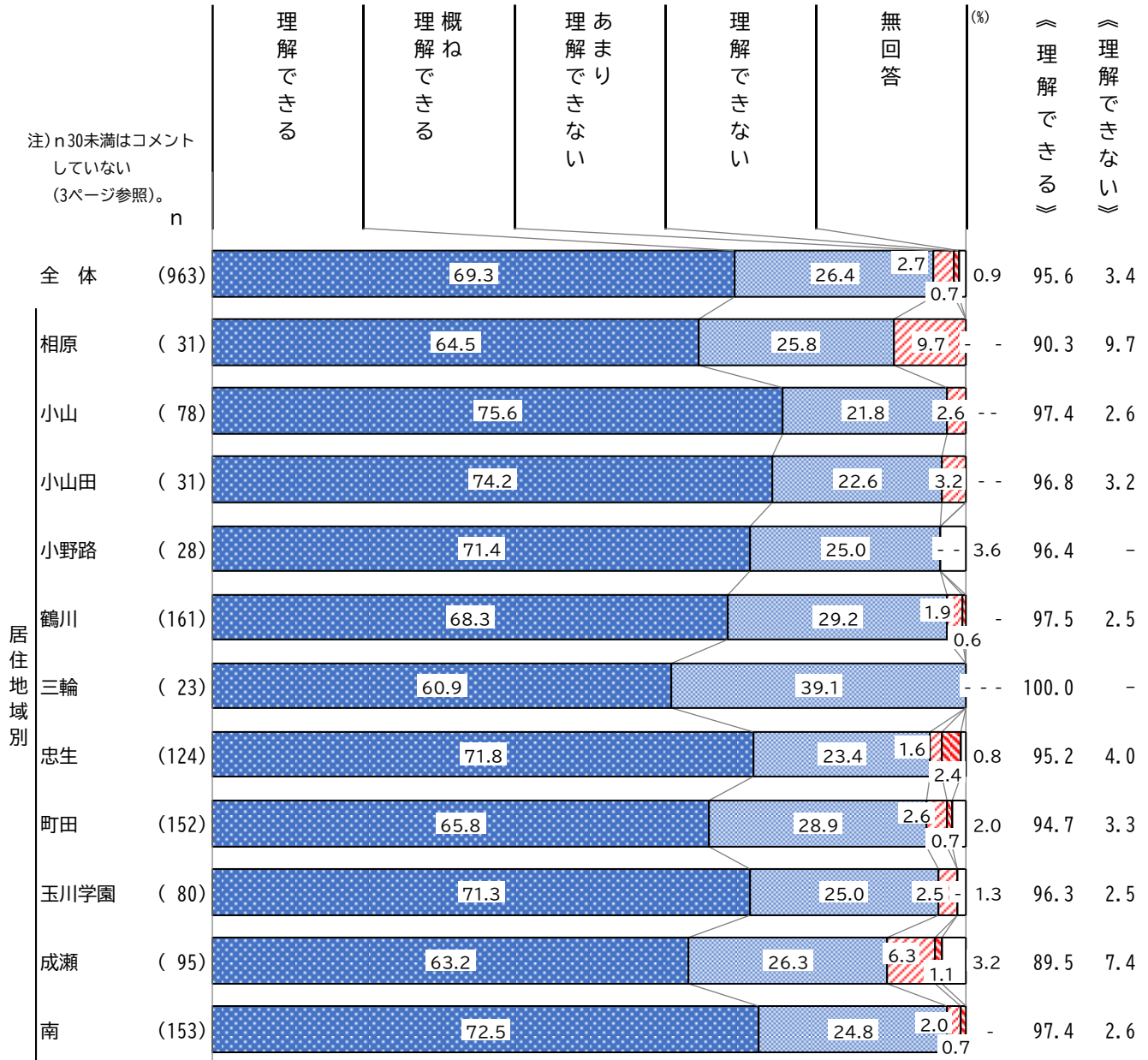
災害に強いまちづくりや、豊かな地域社会の実現のため、小・中学校といった身近な公共施設における地域拠点としての役割は、維持していく必要がある。

- ・性別でみると、「理解できる」は男性が93.6%、女性が97.1%となっている。
- ・年代別でみると、「理解できる」はすべての年代が95%前後。最も高いのは30歳代(98.8%)。
- ・公共施設利用頻度別でみると、半年に数回程度は「理解できる」が98.1%、「理解できない」が1.9%であり、他層より評価が高い。
- ・性別、年代別、公共施設利用頻度別でみても、「理解できる」が大勢を占めている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、小山地区は「理解できる」が75.6%で最も高くなっている。
- ・鶴川地区は《理解できる》が97.5%で最も高く、《理解できない》は2.5%で最も低い。
- ・玉川学園地区も鶴川地区同様に《理解できない》が2.5%で最も低い。
- ・相原地区は《理解できない》が9.7%で最も高くなっている。

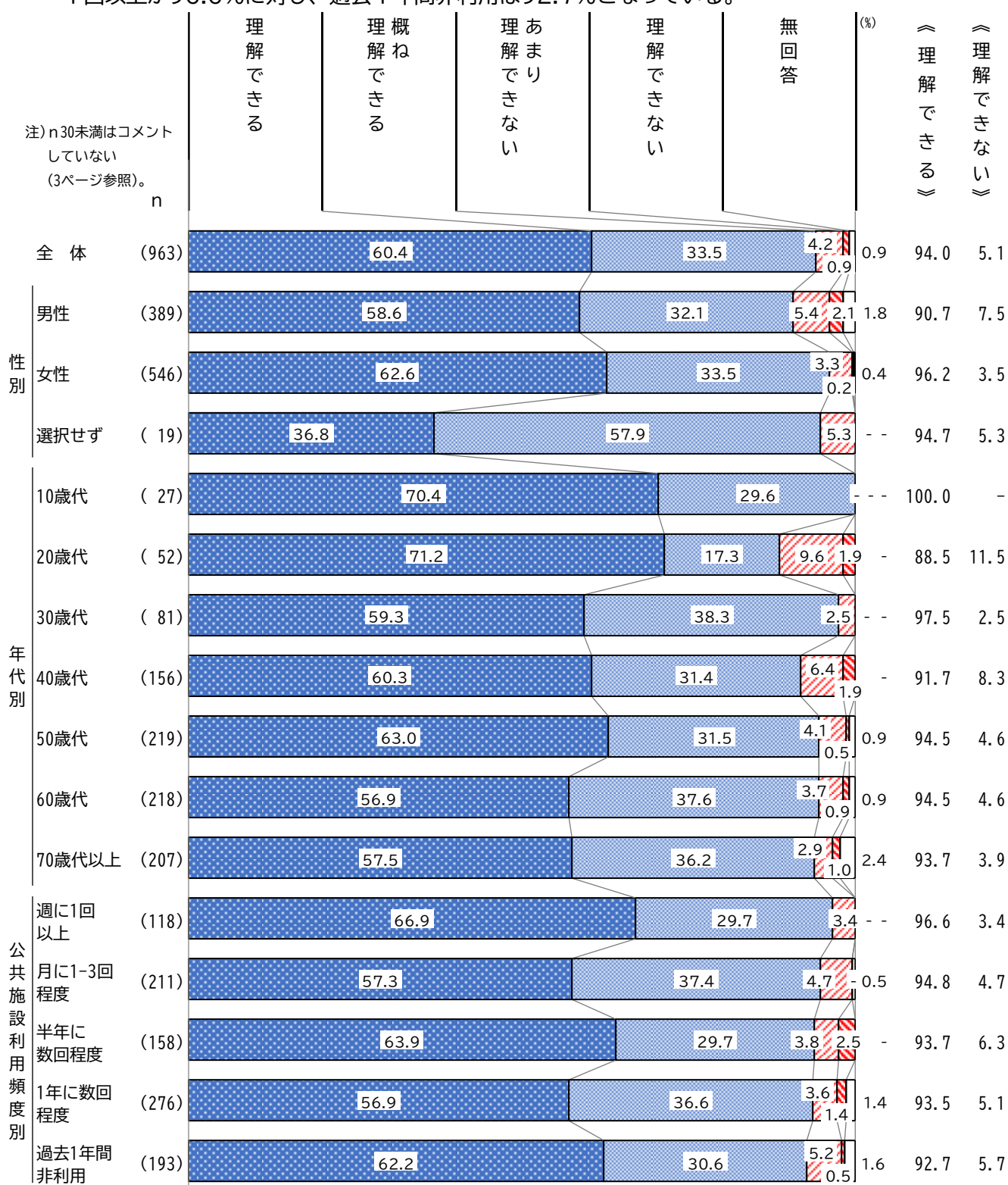


(5) 時代に適応した将来につながるかたちへの変化

単に施設を減らしコストダウンを図るだけではなく、これまでの価値や資源、想いを継承しながらも、時代に適応した将来につながるかたちへ変えていく。

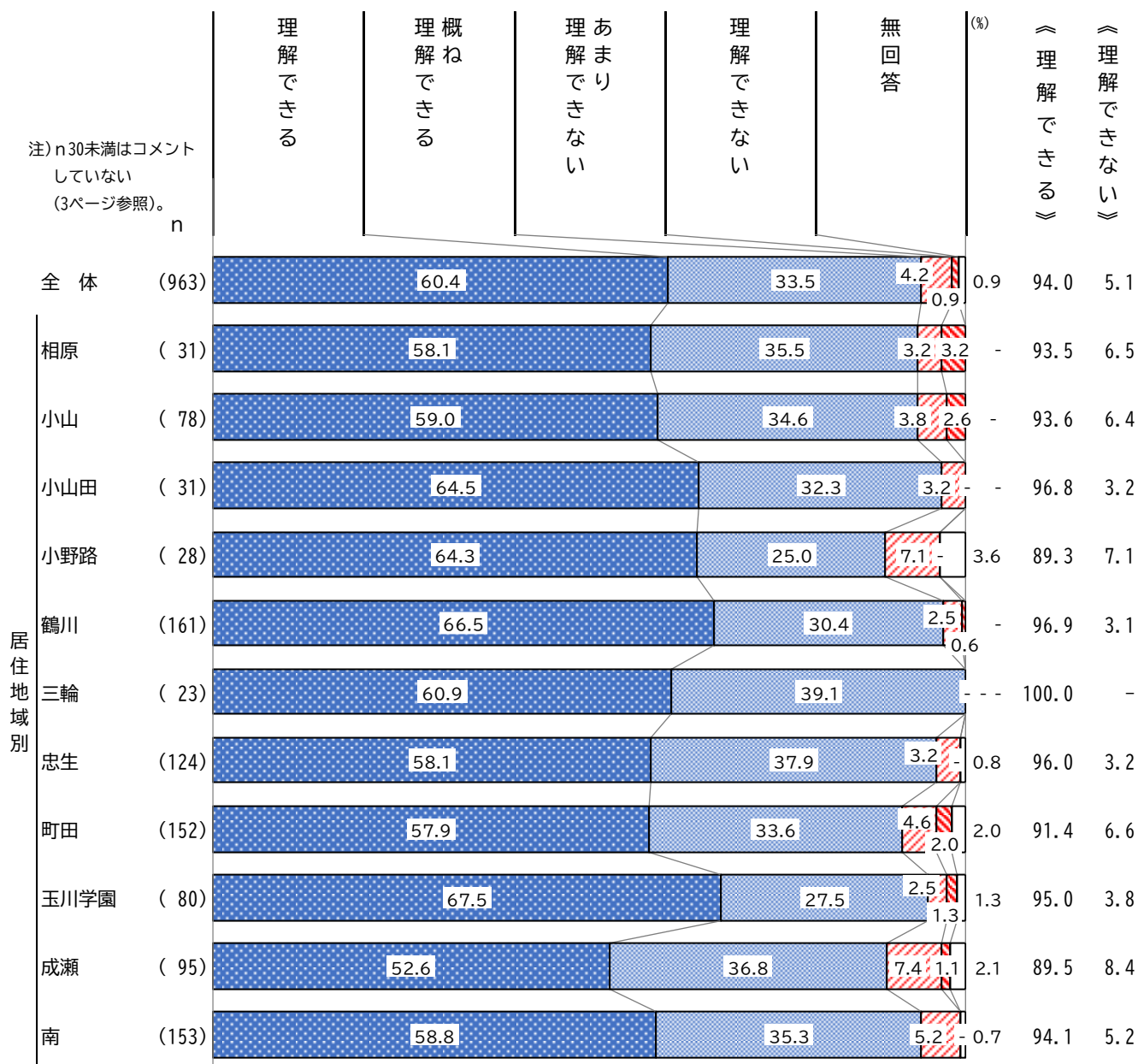
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「理解できる」は男性（90.7%）より女性（96.2%）方が5.5ポイント高い。
- ・年代別でみると、20歳代は「理解できる」が71.2%で最も高いが、「理解できない」も11.5%で最も高く、「理解できる」は88.5%で最も低くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、利用頻度が低くなるにつれ「理解できる」が低下している。週に1回以上が96.6%に対し、過去1年間非利用は92.7%となっている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、玉川学園地区は「理解できる」が67.5%で最も高くなっている。
- ・鶴川地区は《理解できる》が96.9%で最も高く、《理解できない》は3.1%で最も低い。
- ・成瀬地区は《理解できない》が8.4%で最も高くなっている。



3. 公共施設再編の取り組みについて

■公共施設の再編に関する方針への評価

市の公共施設再編の取り組みについて、お聞きします。以下の説明をご覧ください、ご回答ください。

公共施設再編の取り組みについて

▶ 公共施設の再編に関する 4 つの基本方針

以下の 4 つの基本方針に基づき、公共施設の再編など、公共施設の計画的な管理を進めています。

① 施設総量の圧縮

【具体的な取り組み】

- ・施設集約
- ・施設の複合化・多機能化

●施設のあり方の見直しや効果的な施設の再配置を行うことで、安全・安心に施設を維持管理できる施設量（総延床面積）に減らします。

●今後は原則、廃止を伴わない施設の新設は行わず、施設の建替えを行う場合は、施設の複合化・多機能化を進めていきます。

② ライフサイクル

コストの縮減

【具体的な取り組み】

- ・維持管理費用の削減
- ・施設の長寿命化

●施設に関する一元化された情報や新公会計制度による財務情報を使うことにより、維持管理運営の見直しや必要なメンテナンス及び改修を着実に実行し、ライフサイクルコストと呼ばれる、施設の建設から施設の管理や運営、そして建替えまでのトータルの費用を減らします。

③ 官民連携による

サービス向上

【具体的な取り組み】

- ・市民・地域連携
- ・PPP/PFI の導入
- ・他自治体との連携

●市民や民間事業者、他自治体などの多様な主体との連携により、ニーズの変化などに対応した柔軟で付加価値の高いサービス提供を行います。これまで以上の効率化や民間のノウハウや資金の活用などにより、行政だけでは提供できない、利用者目線に立ったより市民満足度の高いサービスの提供を目指します。

④ 既存資源の有効活用

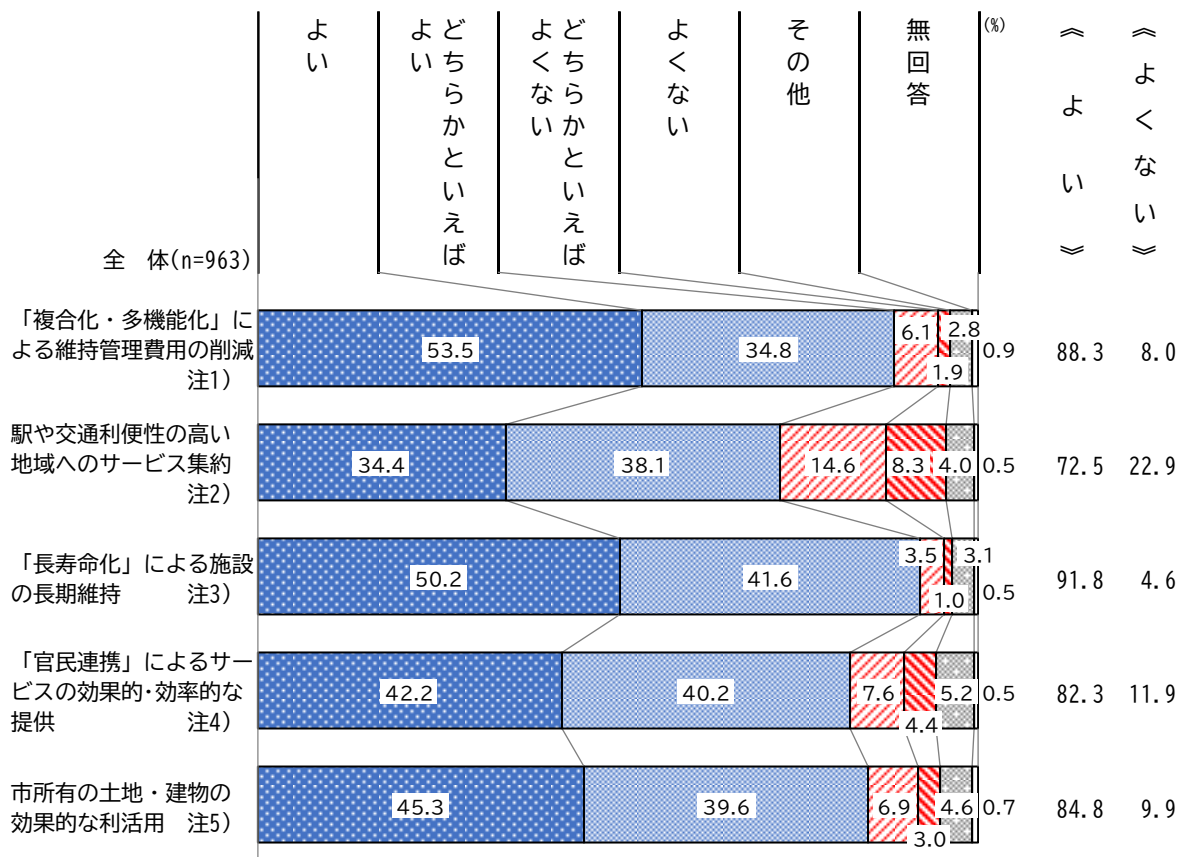
【具体的な取り組み】

- ・市有財産の戦略的活用
- ・人の交流や公益的なサービスを創出する場づくりへの支援

●施設の余っているスペースや未利用地といった土地を市民が交流するための場所やコミュニティの活力を発揮・創出する場所として有効活用します。

●市民や民間事業者などによる民有施設や民有地を活用した人の交流や公益的サービスが創出される空間づくりを支援していきます。

問9～13 市の公共施設再編の取り組みについて、お聞きます。（それぞれ1つずつ）



※考え方の詳細

- 注1) 公共施設にかかる維持管理費用を減らす方法として、今ある施設の余っているスペースを活用し、今までは一つのサービスしか行っていなかった施設で複数のサービスを提供できるようにする「複合化」・「多機能化」という考え方があります。この「複合化」・「多機能化」の考え方をうまく活用して、施設の総量を減らして施設に関する維持管理費用を減らしていくという考え方。
- 注2) 市民が日常的に利用するような身近にあることが望ましいサービスは、地域の拠点として地域に残す一方、地域住民だけでなく、多くの市民が利用するようなサービスは、町田駅周辺をはじめとした駅やバス網が充実している交通利便性の高い地域に集約していくという考え方があります。このような考え方で公共施設再編を進めていくという考え方。
- 注3) 施設の建て替えや改修にかかる費用を減らしていく方法として、施設を長持ちさせるために改修等などの投資を事前にしっかりと行っていく「長寿命化」という考え方があります。この「長寿命化」という方法を活用して、今ある施設をできるだけ長く使っていくという考え方。
- 注4) 市が担っていた公共サービスの一部を民間事業者やNPO、地域住民等が担うことで、これまでほど税金を使わずにサービスを提供したり、これまで以上に身近な場所や便利な時間に公共サービスが受けられるようにしていく方法として、「官民連携」という考え方があります。この「官民連携」という方法を活用して、市民にとって必要なサービスをより効果的・効率的に提供するという考え方。
- 注5) 公共施設の再編によって空いた土地や施設などを、新たなサービスの創出や公共施設の維持管理に充てる資金調達という視点から、貸付・売却を積極的に行うという考え方があります。このような考え方で町田市が所有している土地や建物を効果的に利活用していくという考え方。

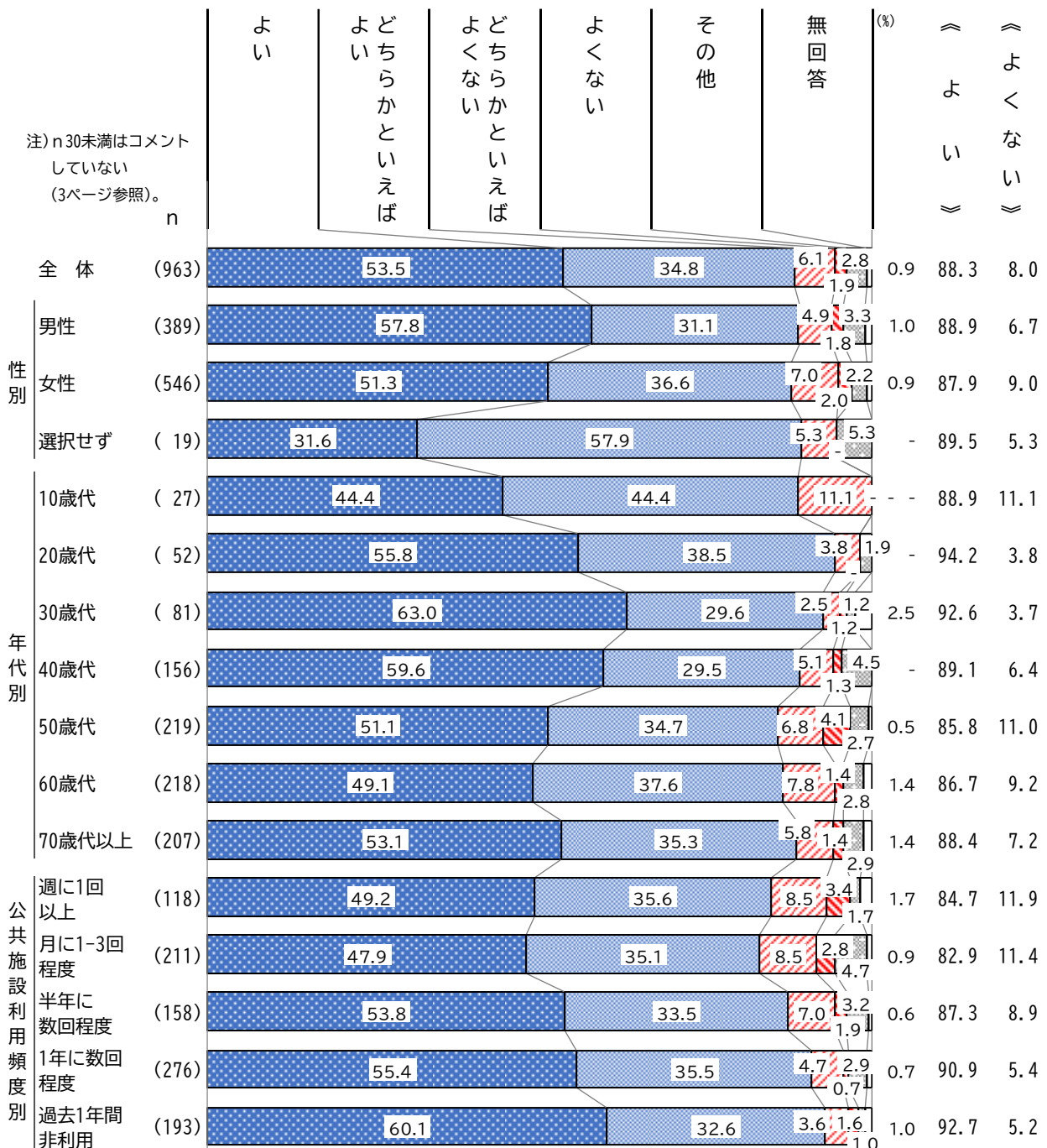
- ・「よい」と「どちらかといえばよい」を合算した《よい》（以下、「《よい》」という）をみると、「長寿命化」による施設の長期維持が91.8%で最も高くなっている。「どちらかといえばよくない」と「よくない」を合算した《よくない》（以下、「《よくない》」という）も4.6%で最も低くなっている。
- ・「駅や交通利便性の高い地域へのサービス集約」は、《よい》が72.5%で最も低く、《よくない》は22.9%で最も高くなっている。

(1) 「複合化・多機能化」による維持管理費用の削減

公共施設にかかる維持管理費用を減らす方法として、今ある施設の余っているスペースを活用し、今までは一つのサービスしか行っていなかった施設で複数のサービスを提供できるようにする「複合化」・「多機能化」という考え方があります。この「複合化」・「多機能化」の考え方をうまく活用して、施設の総量を減らして施設に関する維持管理費用を減らしていくという考え方。

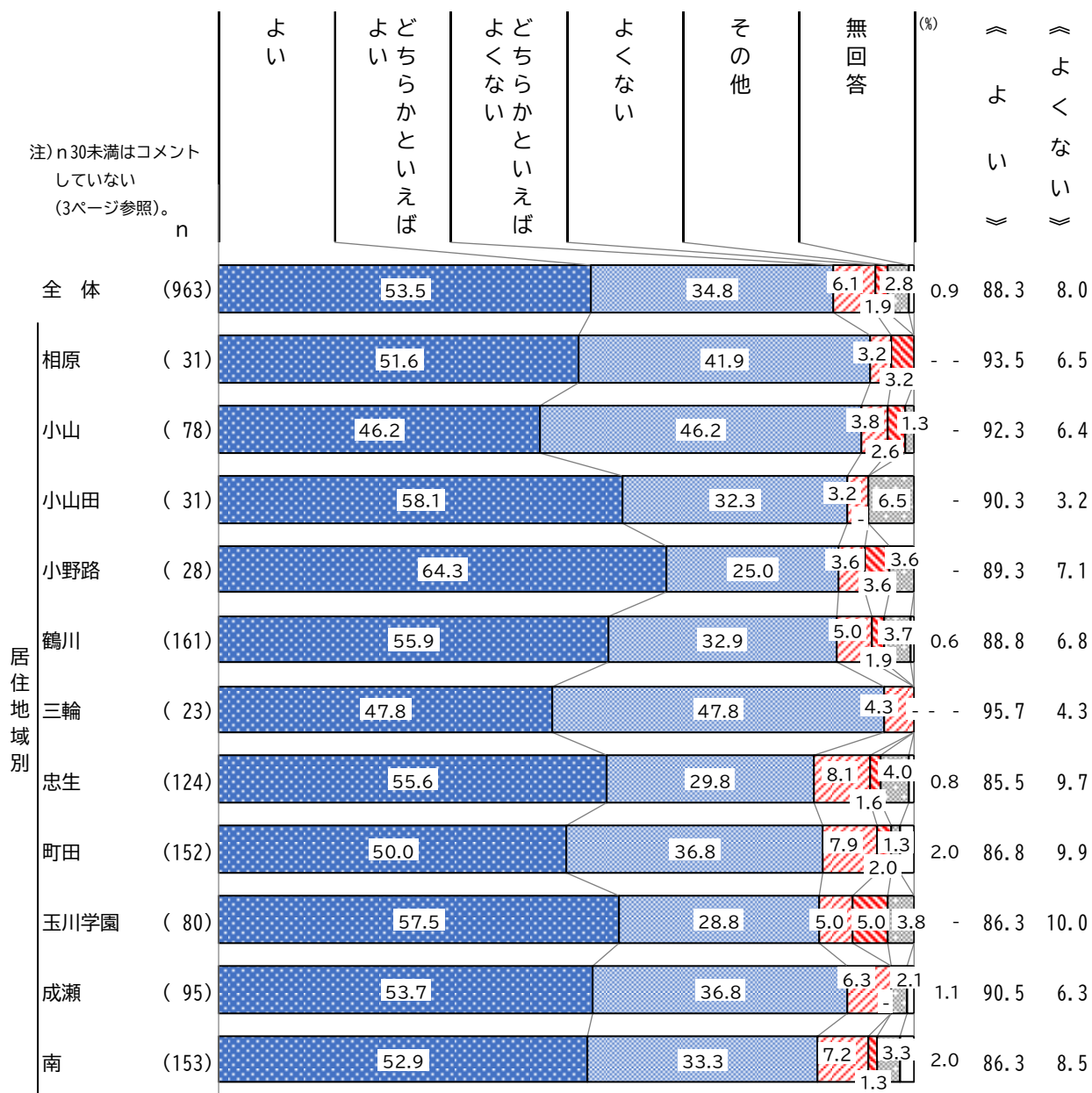
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「よい」は男性が57.8%、女性が51.3%で男性の方が6.5ポイント高くなっている。ただし、「よい」は差が大きい。
- ・年代別でみると、「よい」は20歳代（94.2%）と30歳代（92.6%）が92%以上となっている。50歳代の「よくない」は11.0%で最も高くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、利用頻度が低くなるにつれ「よくない」が低下している。週に1回以上が11.9%に対し、過去1年間非利用は5.2%。当然ながら、利用頻度が高い層ほど施設は身近であって欲しいはずであり、「総量を減らして」に反発があったものと思われる。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「よい」は小山田地区が58.1%で最も高く、「よい」は相原地区が93.5%で最も高くなっている。「よい」は小山地区(92.3%)、成瀬地区(90.5%)、小山田地区(90.3%)でも90%以上となっている。
- ・「よくない」は玉川学園地区が10.0%で最も高く、最も低い小山田地区(3.2%)より6.8ポイント高い。

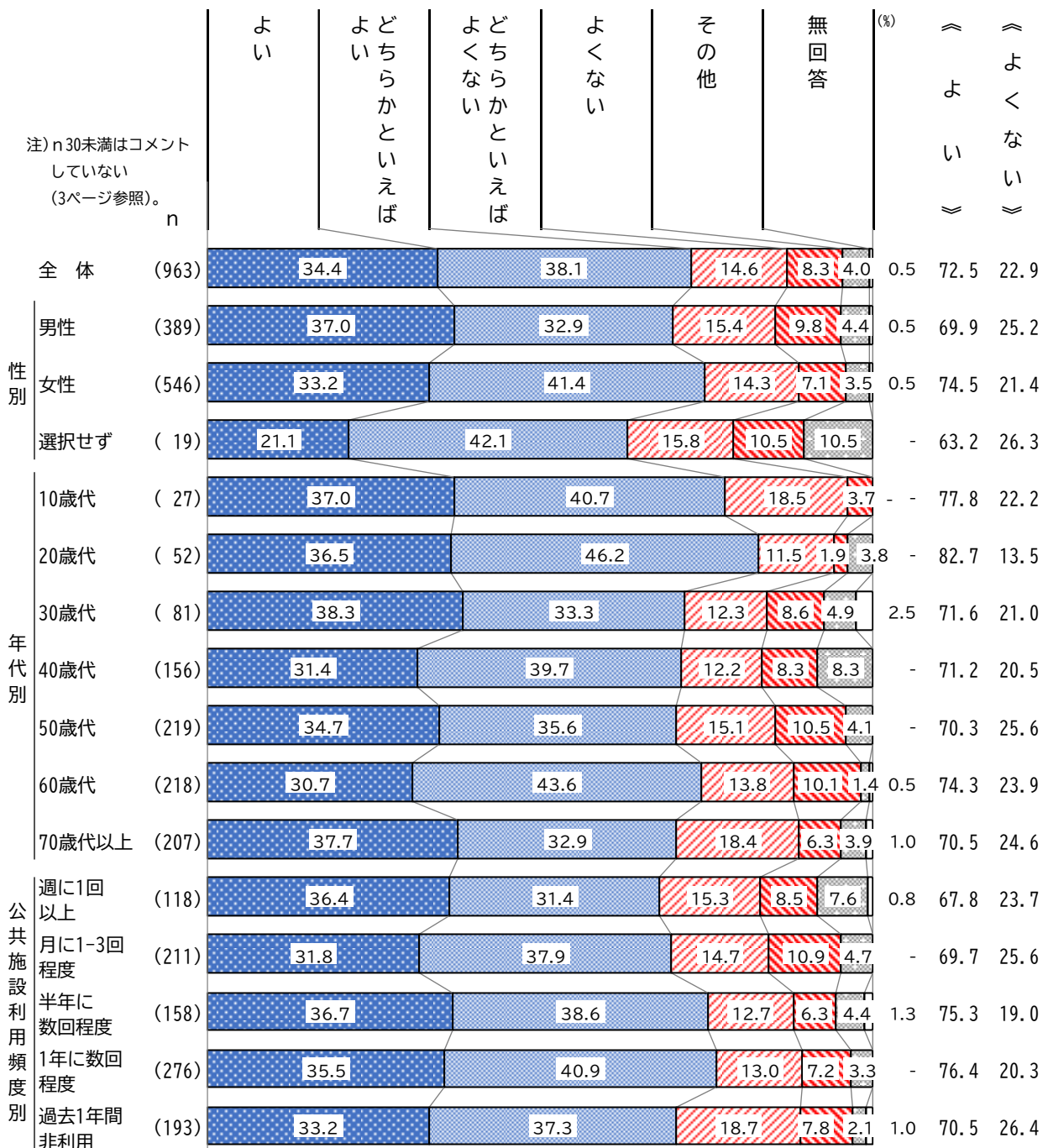


(2) 駅や交通利便性の高い地域へのサービス集約

市民が日常的に利用するような身近にあることが望ましいサービスは、地域の拠点として地域に残す一方、地域住民だけでなく、多くの市民が利用するようなサービスは、町田駅周辺をはじめとした駅やバス網が充実している交通利便性の高い地域に集約していくという考え方があります。このような考え方で公共施設再編を進めていくという考え方。

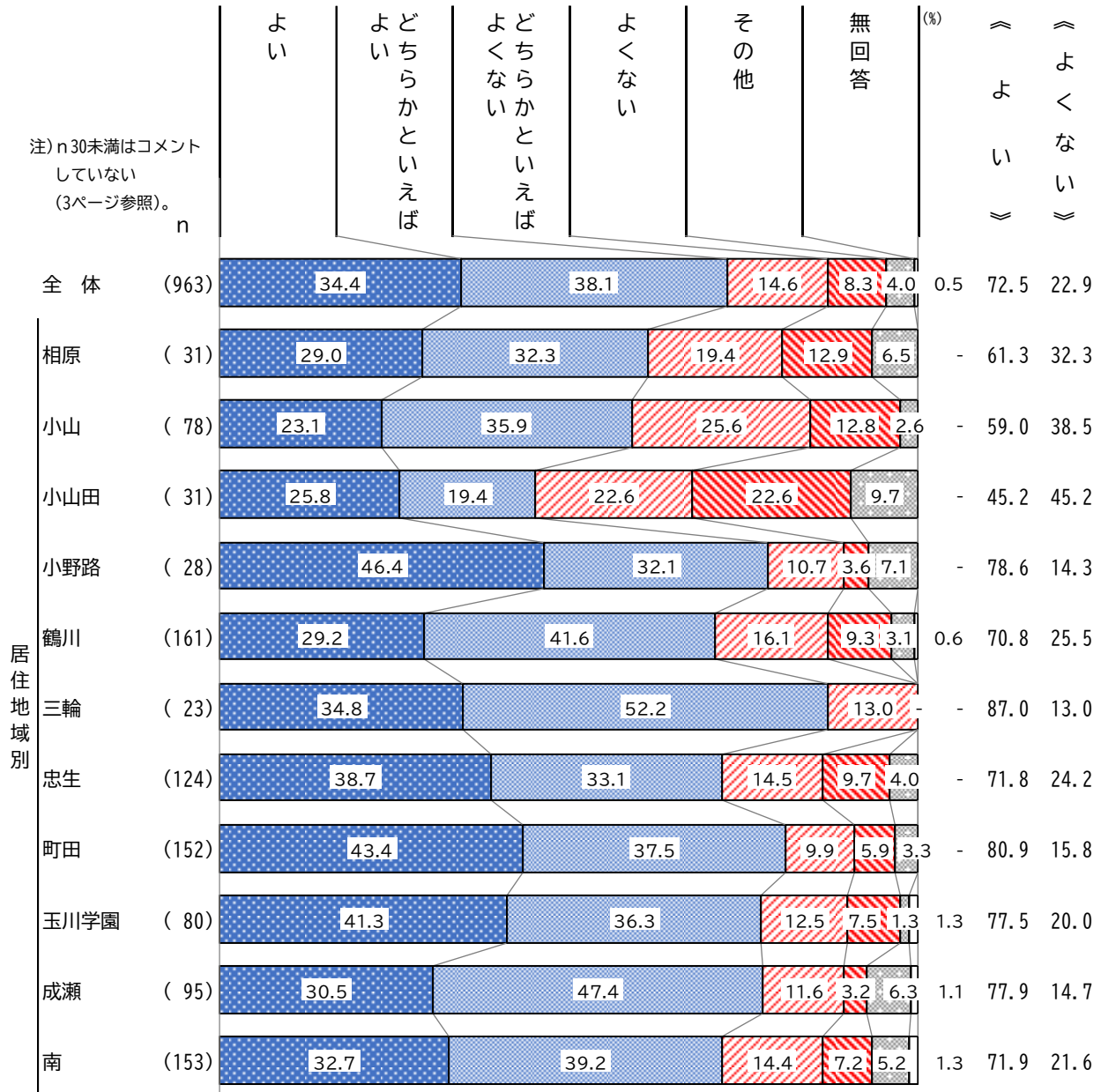
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「よい」は男性が37.0%、女性が33.2%で男性の方が3.8ポイント高くなっているが、「よい」は男性が69.9%、女性が74.5%で女性の方が4.6ポイント高くなっている。
- ・年代別でみると、「よい」は20歳代が82.7%で最も高くなっており、「よくない」も他の年代が20%以上であるのに対し、13.5%で最も低くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、過去1年間利用者の中では、利用頻度が低くなるにつれ「よい」が高くなっている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「よい」は町田地区（43.4%）と玉川学園地区（41.3%）が40%台で、
 ≪よい≫は町田地区が80.9%で最も高くなっている。
- ・小山田地区は≪よくない≫が45.2%で最も高く、最も低い成瀬地区（14.7%）より30.5ポイント高い。

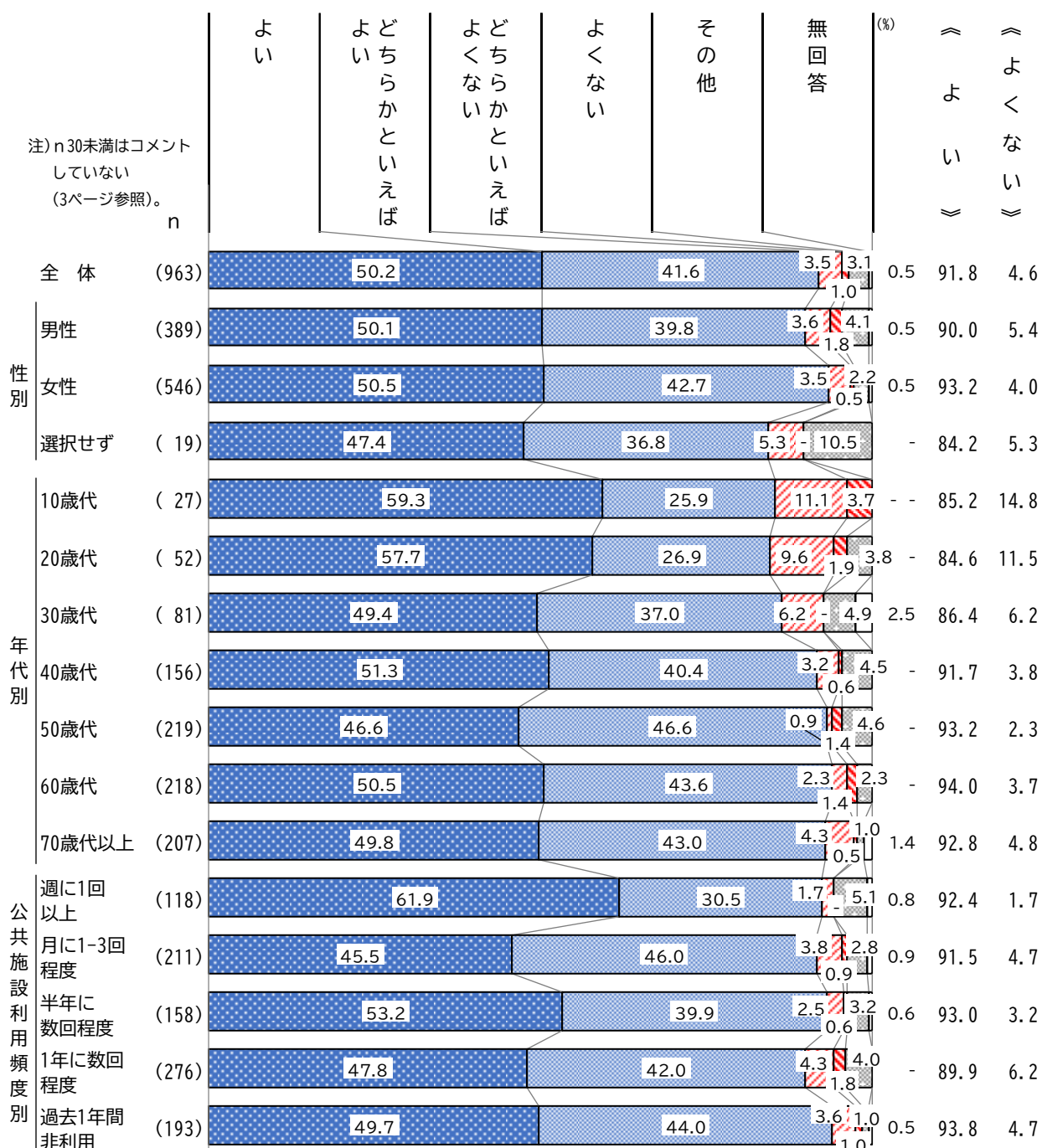


(3) 「長寿命化」による施設の長期維持

施設の建替えや改修にかかる費用を減らしていく方法として、施設を長持ちさせるために改修等などの投資を事前にしっかりと行っていく「長寿命化」という考え方があります。この「長寿命化」という方法を活用して、今ある施設をできるだけ長く使っていくという考え方。

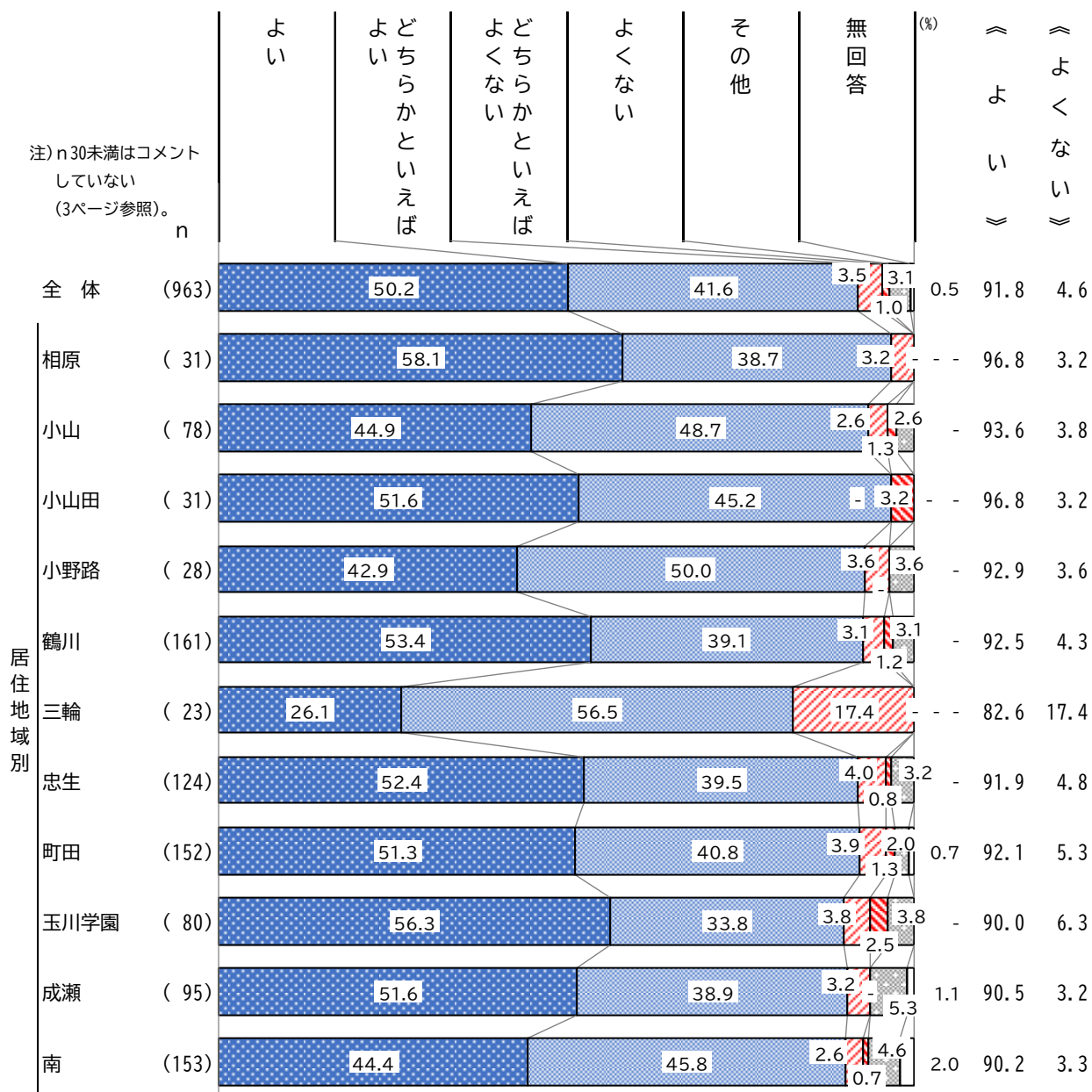
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、《よい》は男性が90.0%、女性が93.2%となっている。
- ・年代別でみると、《よい》は20歳代（84.6%）～60歳代（94.0%）間で、年代が上がるにつれ高くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「よい」は週に1回以上（61.9%）が最も高くなっている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「よい」は相原地区が58.1%で最も高い。
- ・《よい》が最も高いのは相原地区と小山田地区で、両地区とも96.8%となっている。
- ・玉川学園地区は《よくない》が6.3%で最も高い。

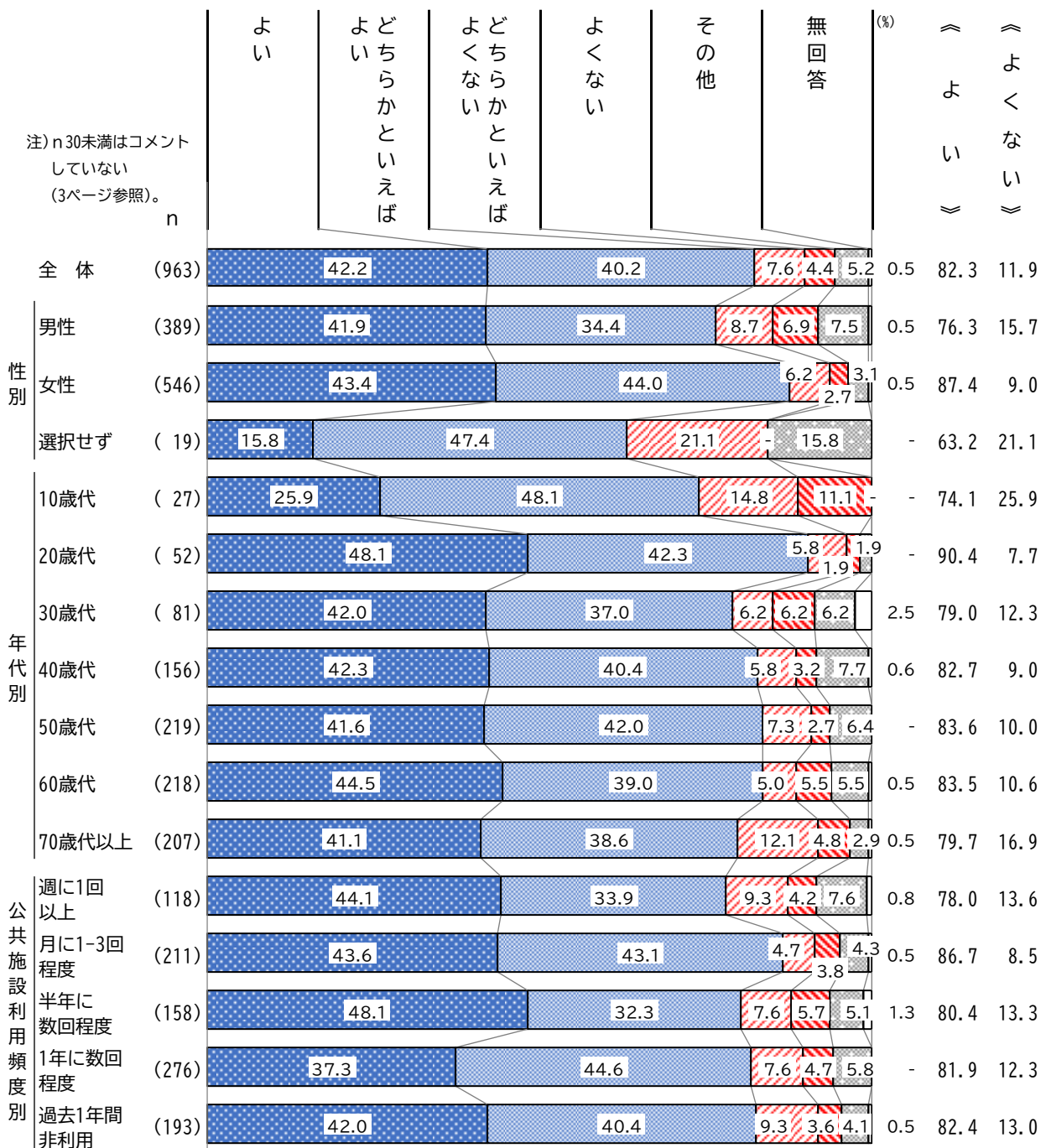


(4) 「官民連携」によるサービスの効果的・効率的な提供

市が担っていた公共サービスの一部を民間事業者やNPO、地域住民等が担うことで、これまでほど税金を使わずにサービスを提供したり、これまで以上にもっと身近な場所や便利な時間に公共サービスが受けられるようにしていく方法として、「官民連携」という考え方があります。この「官民連携」という方法を活用して、市民にとって必要なサービスをより効果的・効率的に提供するという考え方。

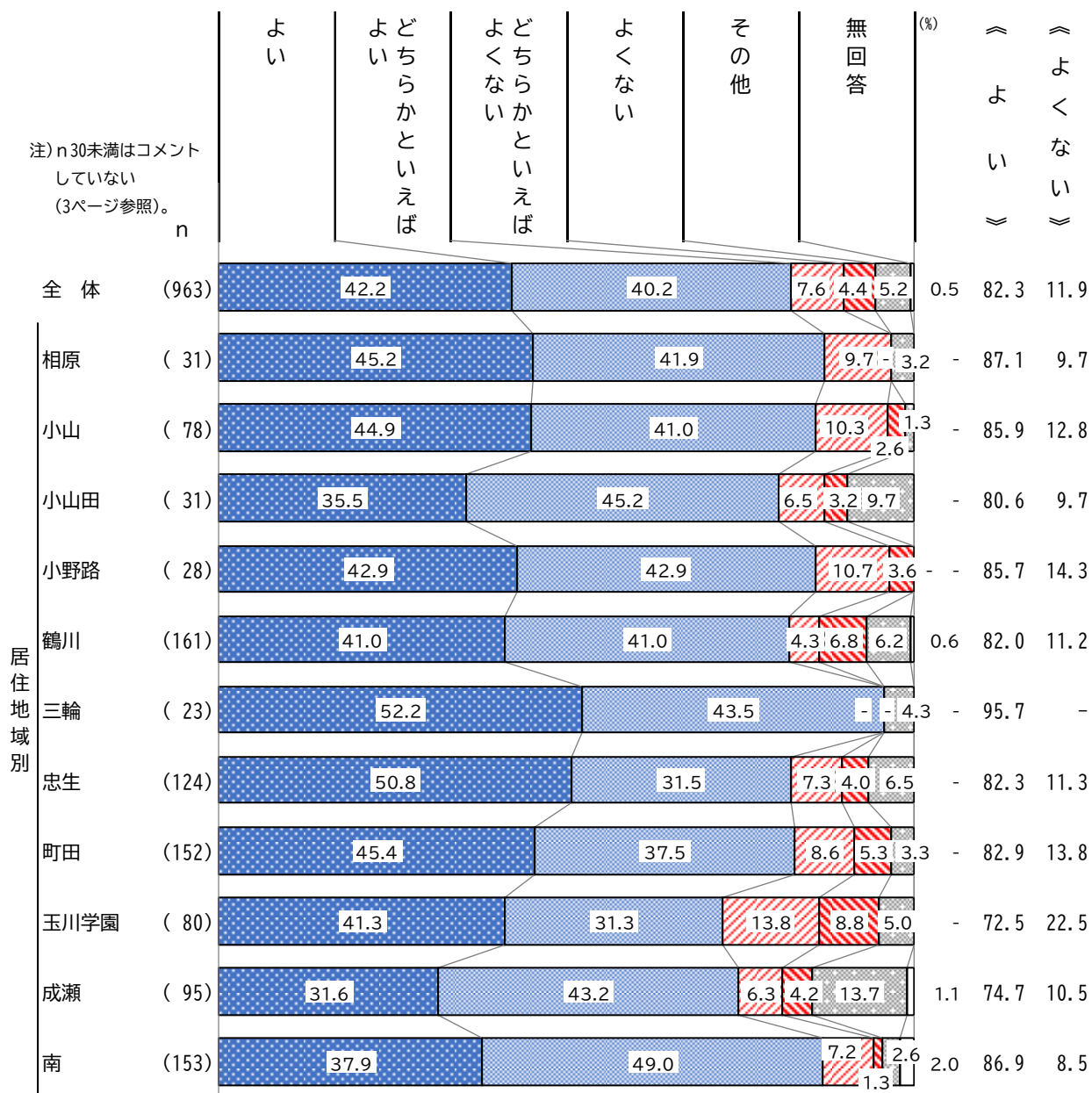
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、《よい》は男性が76.3%、女性が87.4%で、女性の方が11.1ポイント高くなっている。
- ・年代別でみると、《よい》は20歳代が90.4%で最も高くなっている。最も低いのは30歳代（79.0%）で、20歳代より11.4ポイント低くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、《よい》は週に1回以上が78.0%で最も低くなっている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「よい」は忠生地区が50.8%で最も高い。
- ・《よい》は相原地区が87.1%で最も高い。
- ・玉川学園地区（72.5%）と成瀬地区（74.7%）は《よい》が70%台で、他の地域より低い。玉川学園地区は《よくない》も22.5%で最も高く、最も低い南地区（8.5%）より14.0ポイント低い。

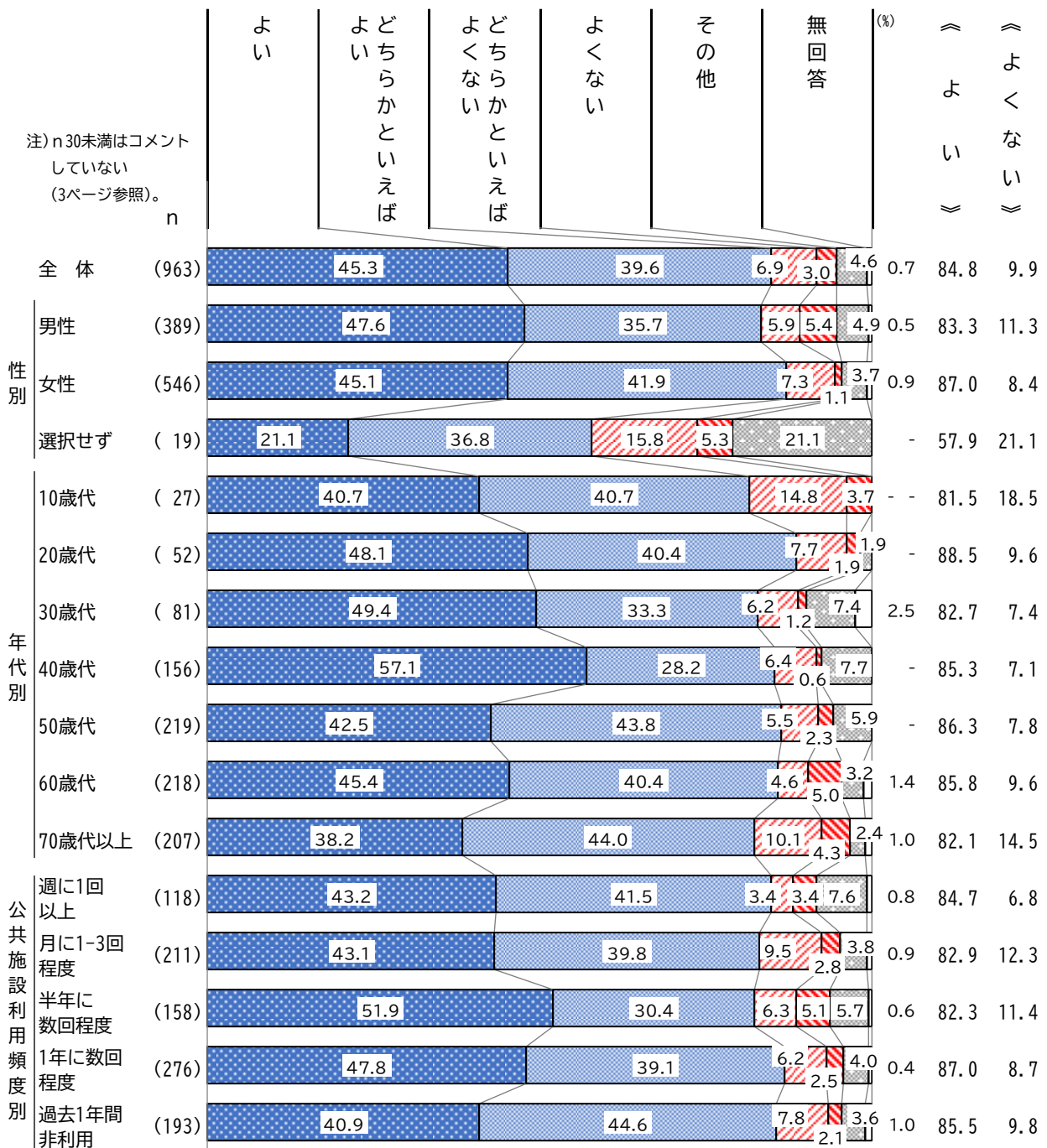


(5) 市所有の土地・建物の効果的な利活用

公共施設の再編によって空いた土地や施設などを、新たなサービスの創出や公共施設の維持管理に充てる資金調達という視点から、貸付・売却を積極的に行うという考え方があります。このような考え方で町田市が所有している土地や建物を効果的に利活用していくという考え方。

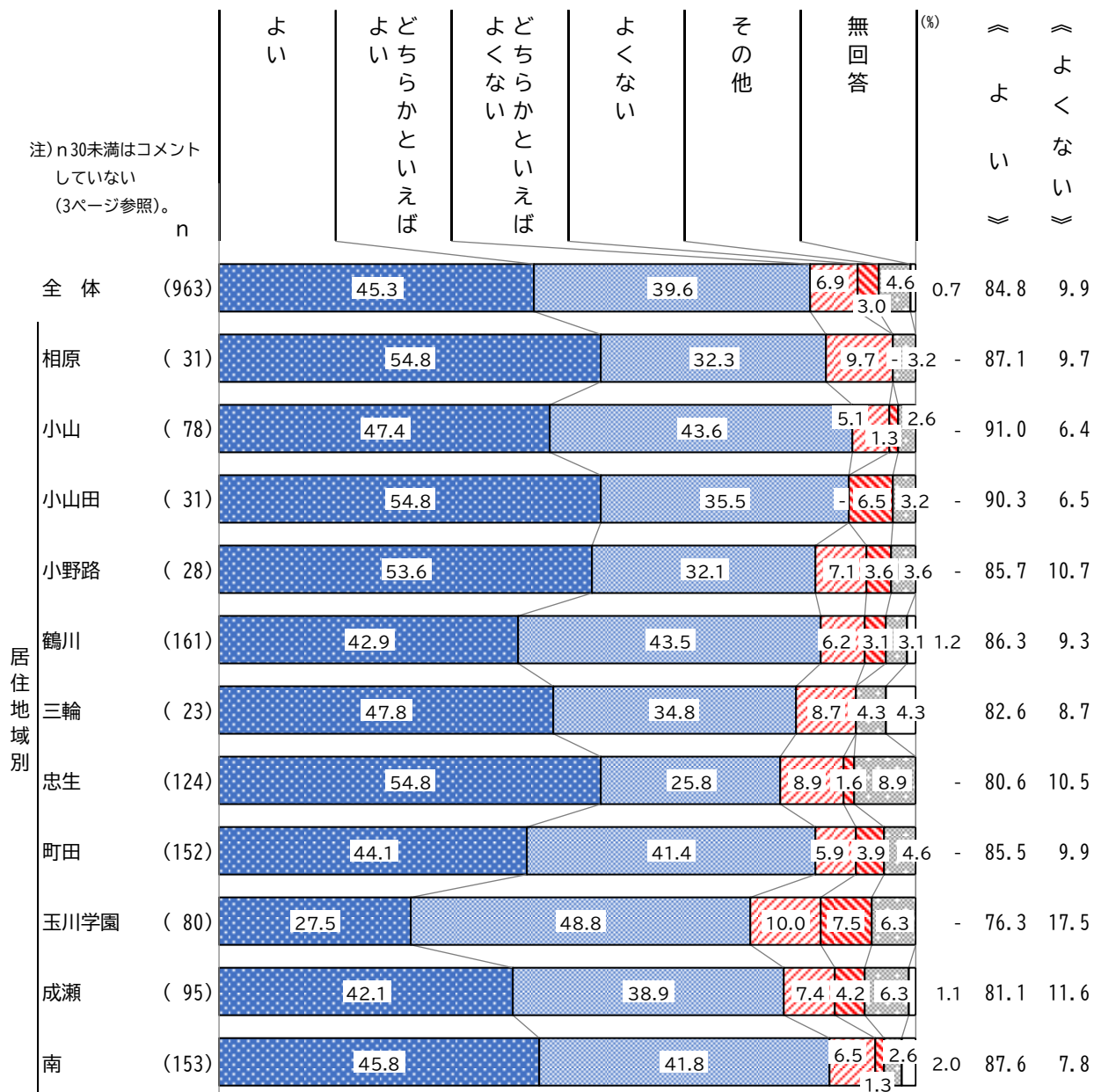
◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「よい」は男性が83.3%、女性が87.0%となっている。
- ・年代別でみると、「よい」はすべての年代で85%前後となっているが、「よくない」は70歳代以上が14.5%で最も高く、最も低い40歳代（7.1%）より7.4ポイント高くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「よくない」は週に1～3回程度（12.3%）と半年に数回程度（11.4%）が11%以上となっている。



◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「よい」は相原地区、小山田地区、忠生地区がともに54.8%で最も高い。玉川学園地区は27.5%で最も低く、上記3地区より27.3ポイント低い。
- ・「よい」は小山地区（91.0%）、小山田地区（90.3%）のみ90%以上となっている。玉川学園地区は76.3%で最も低く、小山地区より14.7ポイント低い。
- ・玉川学園地区は「よくない」も17.5%で最も高く、最も低い小山地区（6.4%）より11.1ポイント高い。



4. 公共施設の“みらい”について

公共施設の“みらい”について、お聞きします。以下の説明をご覧ください、ご回答ください。

さまざまな社会情勢などの変化

公共施設の“みらい”を考えるうえでは、時代に応じて変化するニーズを見極めながら、あり方を柔軟に見直していく必要があります。ここでは、公共施設の“みらい”を考えるうえで考慮すべき、主な社会情勢などの変化をご紹介します。

▶ テクノロジーの進化、ライフスタイルの変化

AI、ICT、ロボットなど、
目覚ましい **テクノロジーの進化**

柔軟な働き方の浸透など、コロナ禍を
契機とした **ライフスタイルの変化**

サービスデザインの変革に伴い、公共施設のあり方も変わっていく



出展：総務省「未来をつかむTECH戦略」2030年代に実現したい未来

▶ 地域コミュニティのあり方の変化

コロナ禍等の社会環境の変化による
地域活動の縮小

町内会・自治会活動などの
地域活動に参加しない人の増加

民生委員や消防団員などの
地域の担い手の減少

地域力の低下
の兆候が懸念
される

災害に強いまちづくりや
豊かな地域社会の実現のため
将来にわたって **持続可能**
な **地域コミュニティ**
の **拠点** となる公共施設の
あり方も変わっていく

▶ 主なまちづくりの動向

町田駅周辺 の開発
から **50年** が経過

新たな賑わい と **交流** の
創出を目指し **再開発** を推進

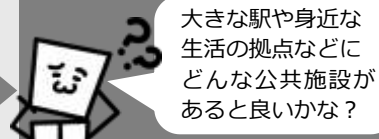
多摩都市モノレール
の **延伸** ルートが決定

町田方面 **延伸の早期実現**
を目指し、まちづくりを推進

大規模団地 の建設から
50年 近く経過

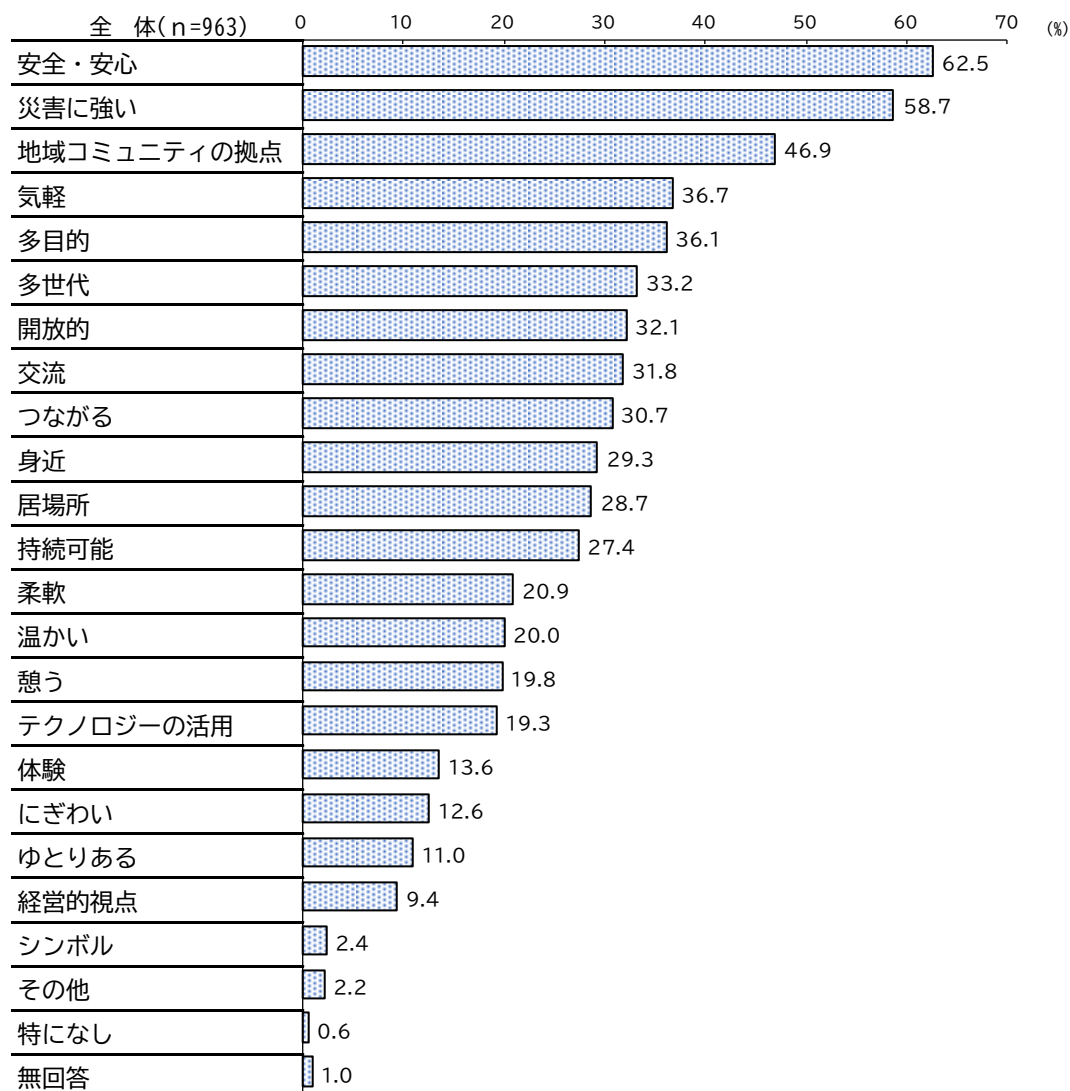
団地の **更新、活性化** など
団地再生 を推進

まちづくりと連動 した
配置 や **更新** など、
まちづくりの動向にあわせて
公共施設のあり方も変わっていく



(1) 公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード

問14 AIやロボットなどのテクノロジーが進化し、ライフスタイルや地域コミュニティのあり方が変化していく中で、公共施設に求められる役割も変化していきます。
そこで、これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワードを、以下の選択肢からお選びください。(いくつでも)



- ・「安全・安心」が62.5%で最も高く、「災害に強い」(58.7%)、「地域コミュニティの拠点」(46.9%)が続いている。
- ・「その他」(2.2%)には「高齢者への配慮」、「土日祝日も利用できる市役所」、「使いやすさ」などが挙げられている。
- ・公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワードの結果を踏まえると、「誰もが安心して安全に利用できる地域コミュニティの拠点として、人と人がつながる場」が求められていると言える。

◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、全体的に女性の方が男性より高い項目が多いが、特に「居場所」、「多世代」は女性の方が男性より各10ポイント以上高い。
- ・年代別でみると、「安全・安心」は40～70歳代以上で60%台となっている。「災害に強い」は70歳代以上が48.8%で、他の年代より低くなっている。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「安全・安心」、「災害に強い」はすべての層で高くなっているが、他項目では過去1年非利用が相対的に低い項目が多い。

| 注) n30未満はコメントしていない(3ページ参照)。 | | n | 安全・安心 | 災害に強い | 地域コミュニティの拠点 | 気軽 | 多目的 | 多世代 | 開放的 | 交流 | つながる | 身近 | 居場所 | 持続可能 | (%) |
|-----------------------------|----------|-----|-------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 全 体 | | 963 | 62.5 | 58.7 | 46.9 | 36.7 | 36.1 | 33.2 | 32.1 | 31.8 | 30.7 | 29.3 | 28.7 | 27.4 | |
| 性別 | 男性 | 389 | 59.4 | 53.5 | 49.4 | 31.9 | 35.0 | 27.2 | 28.0 | 31.9 | 31.6 | 26.0 | 21.1 | 26.2 | |
| | 女性 | 546 | 64.8 | 61.5 | 46.2 | 40.7 | 37.5 | 37.5 | 35.5 | 32.1 | 30.4 | 31.7 | 34.4 | 28.4 | |
| | 選択せず | 19 | 57.9 | 78.9 | 31.6 | 31.6 | 26.3 | 26.3 | 15.8 | 31.6 | 21.1 | 36.8 | 21.1 | 36.8 | |
| 年代別 | 10歳代 | 27 | 59.3 | 59.3 | 14.8 | 37.0 | 7.4 | 22.2 | 33.3 | 29.6 | 37.0 | 44.4 | 22.2 | 25.9 | |
| | 20歳代 | 52 | 53.8 | 55.8 | 46.2 | 36.5 | 34.6 | 34.6 | 36.5 | 25.0 | 36.5 | 32.7 | 28.8 | 30.8 | |
| | 30歳代 | 81 | 54.3 | 61.7 | 43.2 | 43.2 | 37.0 | 27.2 | 35.8 | 19.8 | 22.2 | 24.7 | 25.9 | 24.7 | |
| | 40歳代 | 156 | 67.3 | 59.0 | 46.8 | 34.6 | 41.7 | 32.7 | 34.0 | 31.4 | 39.1 | 37.2 | 31.4 | 29.5 | |
| | 50歳代 | 219 | 61.2 | 64.4 | 46.1 | 35.6 | 35.6 | 33.8 | 30.1 | 33.8 | 31.1 | 30.1 | 30.1 | 32.9 | |
| | 60歳代 | 218 | 66.5 | 61.5 | 50.5 | 35.8 | 44.5 | 36.7 | 38.1 | 31.7 | 27.5 | 26.1 | 31.2 | 28.0 | |
| | 70歳代以上 | 207 | 61.8 | 48.8 | 50.2 | 37.2 | 28.0 | 32.4 | 24.2 | 36.7 | 28.5 | 25.1 | 24.2 | 20.3 | |
| 公共施設利用頻度別 | 週に1回以上 | 118 | 60.2 | 57.6 | 44.9 | 39.8 | 40.7 | 37.3 | 43.2 | 35.6 | 41.5 | 29.7 | 37.3 | 33.9 | |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 63.0 | 59.7 | 57.8 | 40.8 | 36.0 | 37.9 | 34.6 | 37.0 | 34.1 | 31.3 | 37.9 | 30.3 | |
| | 半年に数回程度 | 158 | 66.5 | 68.4 | 50.6 | 34.2 | 39.9 | 38.0 | 32.3 | 37.3 | 25.9 | 34.8 | 25.9 | 24.7 | |
| | 1年に数回程度 | 276 | 58.0 | 55.1 | 43.5 | 33.7 | 34.4 | 29.3 | 31.2 | 25.7 | 31.5 | 29.0 | 24.3 | 28.3 | |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 66.8 | 56.0 | 38.9 | 35.8 | 34.2 | 26.4 | 23.8 | 26.4 | 22.3 | 22.3 | 21.2 | 21.8 | |

| 注) n30未満はコメントしていない(3ページ参照)。 | | n | 柔軟 | 温かい | 憩う | テクノロジーの活用 | 体験 | にぎわい | ゆとりある | 経営的視点 | シンボル | その他 | 特になし | 無回答 | (%) |
|-----------------------------|----------|-----|------|------|------|-----------|------|------|-------|-------|------|------|------|-----|-----|
| 全 体 | | 963 | 20.9 | 20.0 | 19.8 | 19.3 | 13.6 | 12.6 | 11.0 | 9.4 | 2.4 | 2.2 | 0.6 | 1.0 | |
| 性別 | 男性 | 389 | 19.8 | 16.7 | 15.7 | 21.9 | 12.1 | 13.1 | 10.8 | 12.6 | 3.9 | 3.3 | 0.8 | 1.0 | |
| | 女性 | 546 | 21.8 | 22.7 | 23.3 | 17.6 | 14.8 | 12.6 | 11.2 | 7.3 | 1.5 | 1.1 | 0.4 | 1.1 | |
| | 選択せず | 19 | 10.5 | 10.5 | 10.5 | 15.8 | 10.5 | - | 10.5 | 10.5 | - | 10.5 | 5.3 | - | |
| 年齢 | 10歳代 | 27 | 14.8 | 29.6 | 18.5 | 11.1 | 18.5 | 33.3 | 11.1 | 7.4 | 3.7 | 3.7 | - | 3.7 | |
| | 20歳代 | 52 | 21.2 | 26.9 | 25.0 | 28.8 | 23.1 | 15.4 | 17.3 | 11.5 | 5.8 | - | 1.9 | - | |
| | 30歳代 | 81 | 19.8 | 18.5 | 23.5 | 22.2 | 21.0 | 13.6 | 13.6 | 12.3 | 3.7 | 4.9 | 1.2 | 1.2 | |
| | 40歳代 | 156 | 25.6 | 24.4 | 19.2 | 24.4 | 16.0 | 14.7 | 10.3 | 12.8 | 5.1 | 3.2 | 0.6 | - | |
| | 50歳代 | 219 | 21.9 | 16.0 | 19.6 | 20.5 | 11.4 | 11.9 | 9.6 | 10.5 | 2.3 | 3.2 | 0.5 | 0.9 | |
| | 60歳代 | 218 | 21.6 | 19.7 | 21.6 | 18.3 | 10.1 | 12.4 | 12.4 | 9.2 | 0.9 | 0.9 | - | 0.5 | |
| | 70歳代以上 | 207 | 16.4 | 18.8 | 16.4 | 12.6 | 12.1 | 8.2 | 8.2 | 4.8 | 0.5 | 1.0 | 1.0 | 2.4 | |
| 公共施設利用頻度別 | 週に1回以上 | 118 | 26.3 | 26.3 | 26.3 | 22.0 | 13.6 | 16.1 | 17.8 | 11.0 | 2.5 | 2.5 | 0.8 | 1.7 | |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 20.9 | 21.8 | 23.2 | 19.9 | 19.4 | 17.5 | 14.7 | 10.0 | 4.3 | 1.9 | - | - | |
| | 半年に数回程度 | 158 | 22.8 | 20.9 | 19.6 | 24.1 | 19.6 | 8.9 | 11.4 | 13.3 | 3.8 | 1.9 | - | 0.6 | |
| | 1年に数回程度 | 276 | 15.2 | 14.5 | 15.2 | 17.4 | 8.3 | 10.1 | 6.5 | 6.9 | 0.7 | 2.9 | 0.7 | 0.7 | |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 24.4 | 20.2 | 19.2 | 15.5 | 9.8 | 11.9 | 8.3 | 8.8 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 2.1 | |

◆居住地域別

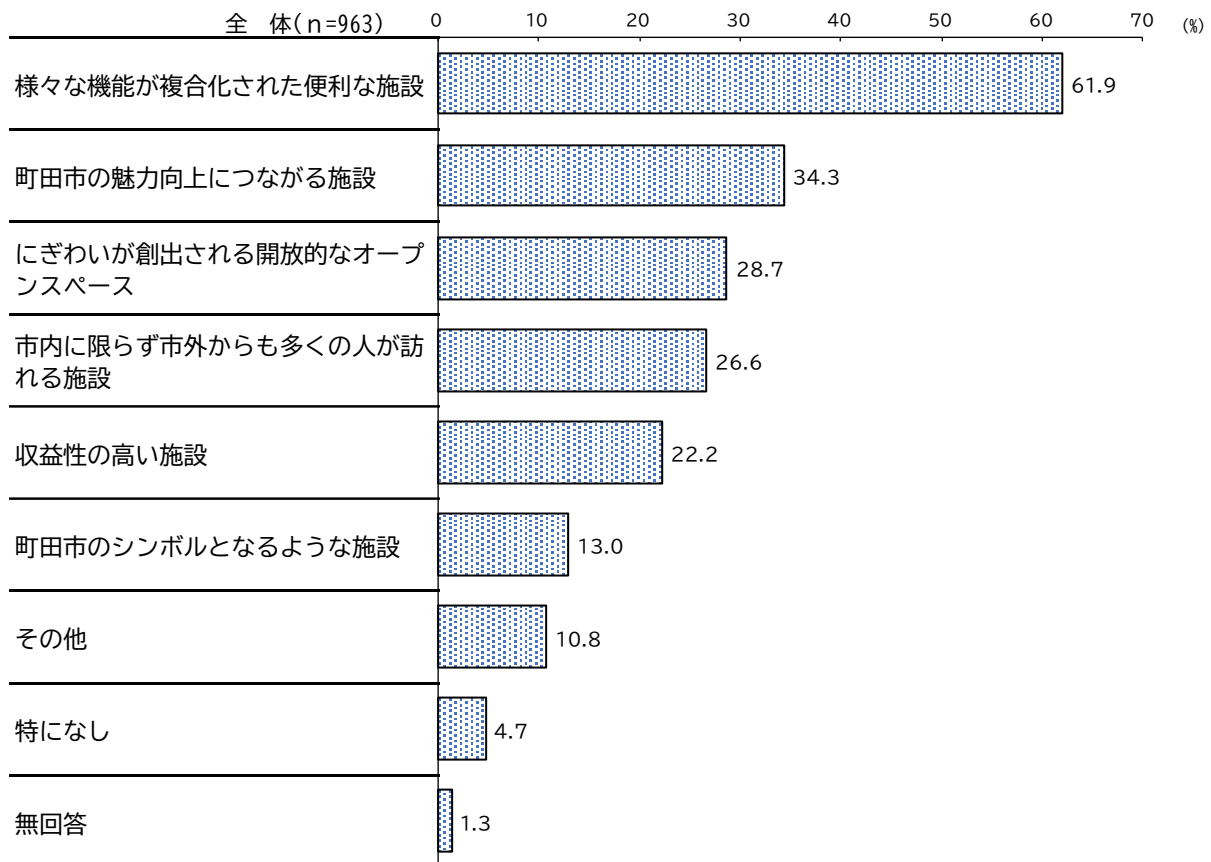
- ・居住地域別でみると、「安全・安心」、「災害に強い」はすべての居住地域で50%以上となっている。
- ・「憩う」は小山田地区が35.5%で最も高く、最も低い相原地区（9.7%）より25.8ポイント高い。

| (%) | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|------|-------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 注)n30未満はコメントしていない(3ページ参照)。 | n | 安全・安心 | 災害に強い | 地域コミュニティの拠点 | 気軽 | 多目的 | 多世代 | 開放的 | 交流 | つながる | 身近 | 居場所 | 持続可能 | |
| 全 体 | 963 | 62.5 | 58.7 | 46.9 | 36.7 | 36.1 | 33.2 | 32.1 | 31.8 | 30.7 | 29.3 | 28.7 | 27.4 | |
| 居住地域別 | 相原 | 31 | 54.8 | 58.1 | 48.4 | 29.0 | 32.3 | 19.4 | 19.4 | 29.0 | 22.6 | 25.8 | 19.4 | 25.8 |
| | 小山 | 78 | 61.5 | 55.1 | 48.7 | 35.9 | 29.5 | 23.1 | 29.5 | 30.8 | 24.4 | 34.6 | 16.7 | 23.1 |
| | 小山田 | 31 | 61.3 | 64.5 | 51.6 | 32.3 | 45.2 | 38.7 | 35.5 | 45.2 | 41.9 | 22.6 | 29.0 | 35.5 |
| | 小野路 | 28 | 60.7 | 53.6 | 50.0 | 42.9 | 50.0 | 46.4 | 39.3 | 28.6 | 42.9 | 39.3 | 50.0 | 25.0 |
| | 鶴川 | 161 | 58.4 | 59.6 | 52.8 | 36.6 | 32.9 | 37.9 | 36.6 | 28.6 | 29.8 | 31.7 | 28.6 | 25.5 |
| | 三輪 | 23 | 65.2 | 52.2 | 39.1 | 34.8 | 17.4 | 26.1 | 21.7 | 26.1 | 21.7 | 13.0 | 21.7 | 26.1 |
| | 忠生 | 124 | 65.3 | 58.1 | 34.7 | 37.9 | 34.7 | 35.5 | 27.4 | 28.2 | 25.8 | 23.4 | 21.0 | 27.4 |
| | 町田 | 152 | 65.1 | 58.6 | 44.7 | 38.2 | 32.9 | 30.3 | 30.9 | 34.2 | 28.3 | 28.9 | 34.2 | 32.2 |
| | 玉川学園 | 80 | 58.8 | 55.0 | 52.5 | 37.5 | 33.8 | 31.3 | 38.8 | 36.3 | 30.0 | 32.5 | 31.3 | 33.8 |
| | 成瀬 | 95 | 60.0 | 66.3 | 42.1 | 31.6 | 43.2 | 32.6 | 30.5 | 30.5 | 33.7 | 29.5 | 31.6 | 26.3 |
| | 南 | 153 | 67.3 | 57.5 | 49.7 | 37.9 | 43.1 | 34.6 | 31.4 | 32.0 | 37.3 | 29.4 | 29.4 | 22.2 |

| (%) | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|------|------|------|------|-----------|------|------|-------|-------|------|-----|------|-----|-----|
| 注)n30未満はコメントしていない(3ページ参照)。 | n | 柔軟 | 温かい | 憩う | テクノロジーの活用 | 体験 | にぎわい | ゆとりある | 経営的視点 | シンボル | その他 | 特になし | 無回答 | |
| 全 体 | 963 | 20.9 | 20.0 | 19.8 | 19.3 | 13.6 | 12.6 | 11.0 | 9.4 | 2.4 | 2.2 | 0.6 | 1.0 | |
| 居住地域別 | 相原 | 31 | 9.7 | 16.1 | 9.7 | 19.4 | 12.9 | 9.7 | 9.7 | 6.5 | - | 6.5 | 3.2 | - |
| | 小山 | 78 | 17.9 | 14.1 | 14.1 | 14.1 | 11.5 | 10.3 | 7.7 | 6.4 | 2.6 | - | 1.3 | 2.6 |
| | 小山田 | 31 | 16.1 | 16.1 | 35.5 | 29.0 | 19.4 | 12.9 | 9.7 | 22.6 | 6.5 | - | - | 3.2 |
| | 小野路 | 28 | 32.1 | 21.4 | 28.6 | 14.3 | 25.0 | 10.7 | 7.1 | - | - | - | - | 3.6 |
| | 鶴川 | 161 | 21.1 | 19.9 | 16.1 | 21.7 | 10.6 | 9.3 | 11.8 | 10.6 | 1.9 | - | 1.2 | 1.9 |
| | 三輪 | 23 | 17.4 | 17.4 | 13.0 | 13.0 | 4.3 | 4.3 | 8.7 | 4.3 | - | - | - | - |
| | 忠生 | 124 | 23.4 | 16.1 | 18.5 | 13.7 | 8.1 | 14.5 | 12.1 | 6.5 | 4.0 | 1.6 | 0.8 | 0.8 |
| | 町田 | 152 | 25.0 | 20.4 | 22.4 | 19.7 | 15.1 | 15.8 | 12.5 | 12.5 | 3.3 | 3.3 | - | - |
| | 玉川学園 | 80 | 18.8 | 18.8 | 18.8 | 25.0 | 17.5 | 17.5 | 11.3 | 11.3 | 1.3 | 2.5 | 1.3 | - |
| | 成瀬 | 95 | 16.8 | 27.4 | 18.9 | 17.9 | 15.8 | 12.6 | 10.5 | 8.4 | 1.1 | 7.4 | - | 1.1 |
| | 南 | 153 | 20.3 | 21.6 | 22.9 | 20.3 | 14.4 | 11.1 | 9.8 | 9.2 | 2.0 | 2.0 | - | 0.7 |

(2) 主要な駅周辺にあると良い公共施設

問15 あなたは、町田駅や鶴川駅、南町田グランベリーパーク駅などの主要な駅周辺に、どのような公共施設があると良いと思いますか。（最大3つまで）



- ・「様々な機能が複合化された便利な施設」（61.9%）が最も高くなっている。次いで「町田市の魅力向上につながる施設」（34.3%）、「にぎわいが創出される開放的なオープンスペース」（28.7%）が続いている。
- ・「その他」（10.8%）には「複合商業施設」、「娯楽施設（映画館・コンサート会場など）」、「文化施設（図書館など）」、「スポーツ施設（体育館・サッカースタジアムなど）」、「子どもが遊べる場所（公園など）」、「福祉センター」、「災害時のための施設」などが挙げられている。

◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「町田市のシンボルとなるような施設」は男性（16.2％）の方が女性（10.8％）より5.4ポイント高い（最大の性別差）。
- ・年代別でみると、「様々な機能が複合化された便利な施設」はすべての年代で50％以上となっている。「収益性の高い施設」は20歳代が32.7％で最も高く、最も低い60歳代（16.1％）より16.6ポイント高い。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「様々な機能が複合化された便利な施設」はすべての層で60％前後、「町田市の魅力向上につながる施設」は30％以上となっている。「にぎわいが創出される開放的なオープンスペース」は週に1回以上が36.4％で最も高く、最も低い1年に数回程度（23.9％）より12.5ポイント高い。

(%)

| 注) n30未満はコメントしていない(3ページ参照)。 | | n | 様々な機能が複合化された便利な施設 | 町田市の魅力向上につながる施設 | にぎわいが創出される開放的なオープンスペース | 市内に限らず市外からも多くの人が訪れる施設 | 収益性の高い施設 | 町田市のシンボルとなるような施設 | その他 | 特になし | 無回答 |
|-----------------------------|----------|-----|-------------------|-----------------|------------------------|-----------------------|----------|------------------|------|------|-----|
| 全 体 | | 963 | 61.9 | 34.3 | 28.7 | 26.6 | 22.2 | 13.0 | 10.8 | 4.7 | 1.3 |
| 性別 | 男性 | 389 | 59.9 | 36.0 | 26.5 | 27.0 | 23.1 | 16.2 | 9.5 | 4.6 | 1.0 |
| | 女性 | 546 | 63.6 | 33.9 | 31.1 | 26.4 | 21.4 | 10.8 | 10.8 | 4.8 | 1.6 |
| | 選択せず | 19 | 63.2 | 21.1 | 10.5 | 21.1 | 31.6 | 5.3 | 26.3 | 5.3 | - |
| 年代別 | 10歳代 | 27 | 55.6 | 40.7 | 29.6 | 25.9 | 22.2 | 22.2 | 7.4 | 3.7 | 3.7 |
| | 20歳代 | 52 | 63.5 | 38.5 | 36.5 | 23.1 | 32.7 | 7.7 | 7.7 | 1.9 | - |
| | 30歳代 | 81 | 65.4 | 32.1 | 25.9 | 19.8 | 24.7 | 12.3 | 12.3 | 3.7 | 2.5 |
| | 40歳代 | 156 | 58.3 | 28.2 | 31.4 | 25.0 | 30.8 | 10.3 | 17.9 | 3.2 | 0.6 |
| | 50歳代 | 219 | 60.7 | 35.2 | 24.2 | 27.9 | 23.7 | 11.0 | 12.3 | 4.1 | 1.4 |
| | 60歳代 | 218 | 67.4 | 35.3 | 29.8 | 28.9 | 16.1 | 12.8 | 9.2 | 6.0 | 0.9 |
| | 70歳代以上 | 207 | 58.5 | 35.3 | 29.0 | 27.5 | 17.4 | 17.9 | 6.3 | 6.3 | 1.9 |
| 公共施設利用頻度別 | 週に1回以上 | 118 | 59.3 | 33.1 | 36.4 | 24.6 | 18.6 | 15.3 | 13.6 | 3.4 | 4.2 |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 62.6 | 37.0 | 33.2 | 30.3 | 17.1 | 12.8 | 12.3 | 1.9 | 0.5 |
| | 半年に数回程度 | 158 | 68.4 | 35.4 | 26.6 | 24.1 | 25.9 | 11.4 | 14.6 | 3.2 | 0.6 |
| | 1年に数回程度 | 276 | 61.2 | 34.4 | 23.9 | 26.8 | 26.1 | 11.6 | 9.8 | 4.7 | 0.7 |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 57.5 | 30.6 | 28.0 | 23.8 | 21.8 | 14.5 | 6.2 | 9.8 | 2.1 |

◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「様々な機能が複合化された便利な施設」は鶴川地区（72.7%）、成瀬地区（71.6%）が70%台となっている。相原地区は41.9%で最も低く、鶴川地区より30.8ポイント低い。
- ・「町田市の魅力向上につながる施設」は町田地区が46.1%で最も高くなっている。小山地区は25.6%で最も低く、町田地区より20.5ポイント低い。

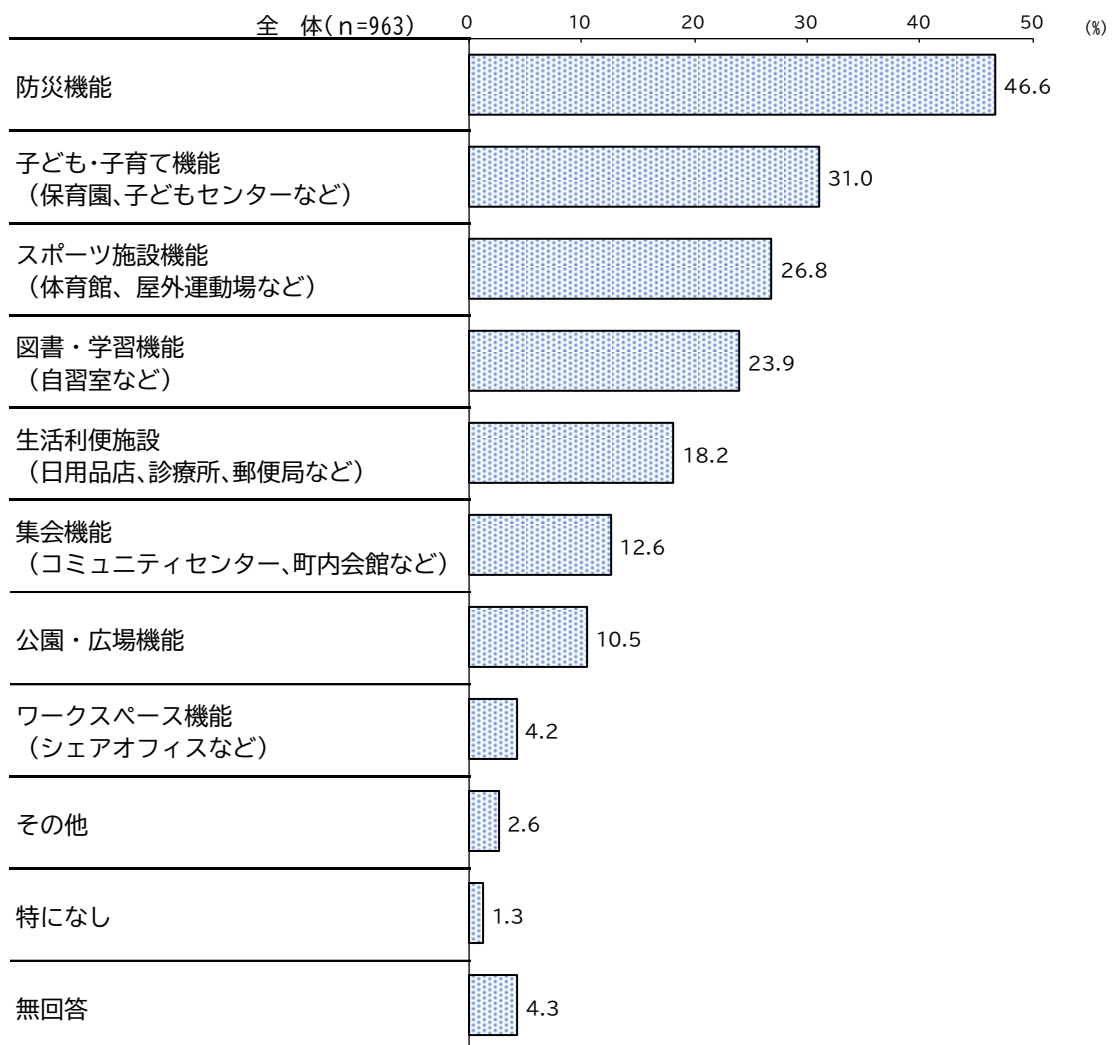
(%)

| 注) n30未満はコメントしていない (3ページ参照)。 | | n | 様々な機能が複合化された 便利な施設 | 町田市の魅力向上に つながる施設 | にぎわいが創出される開 放的なオープンスペース | 市内に限らず市外からも多 くの人が訪れる施設 | 収益性の高い施設 | 町田市のシンボルとなるよ うな施設 | その他 | 特になし | 無回答 |
|---------------------------------|------|-----|-----------------------|---------------------|----------------------------|---------------------------|----------|----------------------|------|------|-----|
| 全 体 | | 963 | 61.9 | 34.3 | 28.7 | 26.6 | 22.2 | 13.0 | 10.8 | 4.7 | 1.3 |
| 居住地域別 | 相原 | 31 | 41.9 | 29.0 | 29.0 | 32.3 | 29.0 | 6.5 | 12.9 | 6.5 | 3.2 |
| | 小山 | 78 | 51.3 | 25.6 | 17.9 | 26.9 | 25.6 | 15.4 | 6.4 | 12.8 | - |
| | 小山田 | 31 | 58.1 | 35.5 | 22.6 | 25.8 | 35.5 | 22.6 | 6.5 | - | 3.2 |
| | 小野路 | 28 | 60.7 | 28.6 | 39.3 | 32.1 | 21.4 | 21.4 | 10.7 | - | - |
| | 鶴川 | 161 | 72.7 | 31.7 | 34.2 | 27.3 | 18.6 | 9.9 | 11.2 | 1.9 | 2.5 |
| | 三輪 | 23 | 56.5 | 21.7 | 21.7 | 43.5 | 21.7 | 8.7 | 4.3 | 4.3 | - |
| | 忠生 | 124 | 62.1 | 34.7 | 24.2 | 32.3 | 18.5 | 15.3 | 10.5 | 5.6 | 0.8 |
| | 町田 | 152 | 57.9 | 46.1 | 27.6 | 23.0 | 23.7 | 18.4 | 9.9 | 3.9 | 1.3 |
| | 玉川学園 | 80 | 60.0 | 35.0 | 28.8 | 30.0 | 22.5 | 15.0 | 12.5 | - | 1.3 |
| | 成瀬 | 95 | 71.6 | 36.8 | 30.5 | 20.0 | 16.8 | 6.3 | 8.4 | 5.3 | 1.1 |
| | 南 | 153 | 60.1 | 30.7 | 31.4 | 22.2 | 26.1 | 9.8 | 16.3 | 7.2 | 1.3 |

(3) 地域拠点にあると良い機能・サービス

問16 町田市では小・中学校などを地域の拠点として位置づけています。

あなたは、このような地域の拠点に、どのような機能・サービスがあると良いと思いますか。
(最大2つまで)



- ・「防災機能」(46.6%)が最も高くなっている。次いで「子ども・子育て機能(保育園、子どもセンターなど)」(31.0%)、「スポーツ施設機能(体育館、屋外運動場など)」(26.8%)が続いている。
- ・「その他」(2.6%)には「避難所・備蓄倉庫」、「高齢者福祉施設」、「児童支援」などが挙げられている。

◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「スポーツ施設機能（体育館、屋外運動場など）」は男性（31.4%）の方が女性（24.2%）より7.2ポイント高い（最大の性別差）。
- ・上位3項目を年代別でみると、最も高い年代と最も低い年代で20ポイント以上の差がある。「防災機能」は高年代層の方が相対的に高い。60歳代が52.8%で最も高く、最も低い30歳代（28.4%）より24.4ポイント高い。「子ども・子育て機能（保育園、子どもセンターなど）」は30歳代（49.4%）が最も高く、最も低い50歳代（26.5%）より22.9ポイント高い。「スポーツ施設機能（体育館、屋外運動場など）」は40歳代（41.7%）が最も高く、最も低い60歳代（21.1%）より20.6ポイント高い。
- ・公共施設利用頻度別でみると、上位5項目は最も高い層と最も低い層で10ポイント以上の差がある。最も差があるのは、「子ども・子育て機能（保育園、子どもセンターなど）」で週に1回以上が40.7%で最も高く、最も低い過去1年間非利用（26.4%）より14.3ポイント高い。

(%)

| 注）n30未満はコメントしていない（3ページ参照）。 | | n | 防 災 機 能 | 子 ども ・ 子 育 て 機 能（保 育 園、子 ども セ ン ター な ど） | ス ポー ツ 施 設 機 能（体 育 館、屋 外 運 動 場 な ど） | 図 書 ・ 学 習 機 能（自 習 室 な ど） | 生 活 利 便 施 設（日 用 品 店、診 療 所、郵 便 局 な ど） | 集 会 機 能（コ ミ ュ ニ ティ セ ン ター、町 内 会 館 な ど） | 公 園 ・ 広 場 機 能 | ワークス ペー ス 機 能（シ ェ ア オフィス など） | その他 | 特になし | 無回答 |
|----------------------------|----------|-----|---------|---|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|--|---------------|------------------------------|-----|------|------|
| 全 体 | | 963 | 46.6 | 31.0 | 26.8 | 23.9 | 18.2 | 12.6 | 10.5 | 4.2 | 2.6 | 1.3 | 4.3 |
| 性 別 | 男性 | 389 | 44.5 | 31.4 | 31.4 | 21.9 | 16.2 | 14.1 | 11.8 | 4.9 | 2.6 | 1.8 | 3.6 |
| | 女性 | 546 | 48.0 | 31.0 | 24.2 | 25.3 | 20.0 | 11.4 | 10.1 | 3.3 | 2.6 | 1.1 | 4.4 |
| | 選択せず | 19 | 47.4 | 26.3 | 21.1 | 26.3 | 10.5 | 10.5 | - | 10.5 | 5.3 | - | 15.8 |
| 年 代 別 | 10歳代 | 27 | 44.4 | 22.2 | 33.3 | 37.0 | 22.2 | 11.1 | 7.4 | - | 3.7 | 3.7 | 3.7 |
| | 20歳代 | 52 | 44.2 | 28.8 | 25.0 | 30.8 | 13.5 | 5.8 | 21.2 | 9.6 | 1.9 | 3.8 | - |
| | 30歳代 | 81 | 28.4 | 49.4 | 37.0 | 25.9 | 7.4 | 3.7 | 18.5 | 6.2 | 3.7 | - | 6.2 |
| | 40歳代 | 156 | 42.9 | 31.4 | 41.7 | 28.8 | 10.3 | 4.5 | 14.1 | 3.8 | 3.2 | 0.6 | 5.8 |
| | 50歳代 | 219 | 47.9 | 26.5 | 23.3 | 24.2 | 21.9 | 11.9 | 6.4 | 6.8 | 2.7 | 0.5 | 4.6 |
| | 60歳代 | 218 | 52.8 | 30.3 | 21.1 | 20.6 | 19.3 | 20.6 | 5.5 | 3.7 | 1.8 | 1.8 | 4.6 |
| | 70歳代以上 | 207 | 49.3 | 30.9 | 21.3 | 19.3 | 23.7 | 16.4 | 12.1 | 0.5 | 2.4 | 1.9 | 2.9 |
| 公 共 施 設 利 用 頻 度 別 | 週に1回以上 | 118 | 39.0 | 40.7 | 27.1 | 21.2 | 14.4 | 13.6 | 9.3 | 2.5 | 1.7 | 0.8 | 8.5 |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 38.4 | 29.4 | 31.8 | 27.5 | 16.6 | 15.6 | 13.7 | 6.6 | 2.8 | 0.9 | 3.8 |
| | 半年に数回程度 | 158 | 50.0 | 29.1 | 31.0 | 29.1 | 16.5 | 10.1 | 7.0 | 4.4 | 5.7 | - | 3.2 |
| | 1年に数回程度 | 276 | 51.8 | 32.6 | 21.7 | 23.9 | 17.8 | 15.2 | 10.9 | 4.0 | 2.2 | 1.4 | 2.2 |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 49.7 | 26.4 | 25.4 | 17.6 | 24.4 | 7.3 | 9.8 | 2.6 | 1.0 | 3.1 | 5.7 |

◆居住地域別

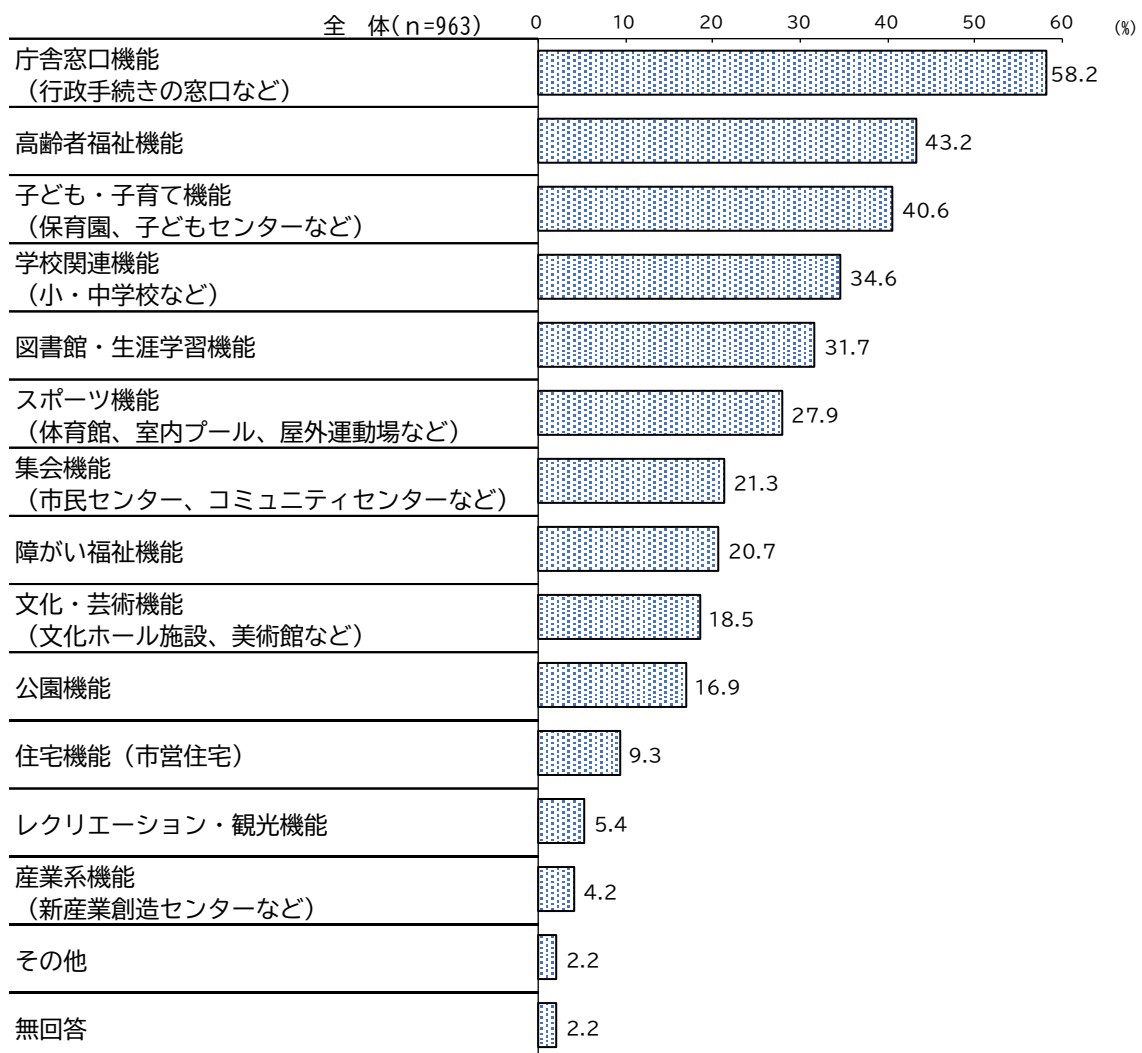
- ・居住地域別でみると、「防災機能」は小山地区が61.3%で最も高く、最も低い忠生地区（37.9%）より23.4ポイント高い。
- ・「生活利便施設（日用品店、診療所、郵便局など）」は相原地区が29.0%で最も高く、最も低い玉川学園地区（8.8%）より20.2ポイント高い。

(%)

| 注) n30未満はコメントしていない (3ページ参照)。 | | n | 防 災 機 能 | 子ども・子育て機能(保育園、子どもセンターなど) | スポーツ施設機能(体育館、屋外運動場など) | 図書・学習機能(自習室など) | 生活利便施設(日用品店、診療所、郵便局など) | 集会機能(コミュニティセンター、町内会館など) | 公園・広場機能 | ワークスペース機能(シェアオフィスなど) | その他 | 特になし | 無回答 |
|---------------------------------|------|-----|---------|--------------------------|-----------------------|----------------|------------------------|-------------------------|---------|----------------------|------|------|-----|
| 全 体 | | 963 | 46.6 | 31.0 | 26.8 | 23.9 | 18.2 | 12.6 | 10.5 | 4.2 | 2.6 | 1.3 | 4.3 |
| 居住地域別 | 相原 | 31 | 48.4 | 19.4 | 19.4 | 19.4 | 29.0 | 9.7 | 12.9 | - | 3.2 | 3.2 | 6.5 |
| | 小山 | 78 | 51.3 | 30.8 | 20.5 | 28.2 | 16.7 | 9.0 | 7.7 | 9.0 | 1.3 | 2.6 | 2.6 |
| | 小山田 | 31 | 61.3 | 35.5 | 16.1 | 16.1 | 9.7 | 16.1 | 12.9 | 3.2 | - | - | 6.5 |
| | 小野路 | 28 | 35.7 | 21.4 | 25.0 | 32.1 | 17.9 | 10.7 | 17.9 | 7.1 | 10.7 | - | 7.1 |
| | 鶴川 | 161 | 48.4 | 30.4 | 28.6 | 23.6 | 18.6 | 11.2 | 12.4 | 2.5 | 1.9 | - | 5.6 |
| | 三輪 | 23 | 60.9 | 26.1 | 30.4 | 8.7 | 30.4 | 26.1 | - | - | - | 4.3 | - |
| | 忠生 | 124 | 37.9 | 26.6 | 30.6 | 24.2 | 26.6 | 16.9 | 8.9 | 3.2 | 4.0 | 2.4 | 1.6 |
| | 町田 | 152 | 47.4 | 34.2 | 28.3 | 22.4 | 17.8 | 9.2 | 13.2 | 3.3 | 2.0 | 1.3 | 3.3 |
| | 玉川学園 | 80 | 40.0 | 31.3 | 30.0 | 31.3 | 8.8 | 11.3 | 6.3 | 7.5 | 2.5 | 1.3 | 5.0 |
| | 成瀬 | 95 | 46.3 | 33.7 | 18.9 | 25.3 | 18.9 | 13.7 | 10.5 | 4.2 | 4.2 | 1.1 | 5.3 |
| | 南 | 153 | 47.7 | 34.0 | 30.1 | 22.2 | 15.0 | 13.7 | 10.5 | 4.6 | 2.0 | 1.3 | 5.2 |

（４）優先的に維持していく必要がある公共施設の機能・サービス

問17 今後、人口減少や厳しい財政状況の中で、今ある全ての公共施設をそのまま維持することはできません。そのような中で、どのような公共施設の機能・サービスを優先的に維持していく必要があると思いますか。（最大4つまで）



- ・「庁舎窓口機能（行政手続きの窓口など）」（58.2%）が最も高くなっている。次いで「高齢者福祉機能」（43.2%）、「子ども・子育て機能（保育園、子どもセンターなど）」（40.6%）が続いている。
- ・「その他」（2.2%）には「商業施設」、「複合施設」、「道路交通系機能」などが挙げられている。

◆性別、年代別、公共施設利用頻度別

- ・性別でみると、「図書館・生涯学習機能」は女性（34.4％）の方が男性（28.0％）より6.4ポイント高い（最大の性別差）。
- ・年代別でみると、最も高い年代と最も低い年代で30ポイント以上の差がある項目が3項目存在する。「学校関連機能（小・中学校など）」は20歳代が57.7％で最も高く、最も低い70歳代以上（18.8％）より38.9ポイント高い。「子ども・子育て機能（保育園、子どもセンターなど）」は30歳代（67.9％）が最も高く、最も低い70歳代以上（30.9％）より37.0ポイント高い。「高齢者福祉機能」は70歳代以上（52.7％）が最も高く、最も低い30歳代（22.2％）より30.5ポイント高い。これらの項目の差は、回答者自身が置かれている立場・環境から生じているものと思われる。
- ・公共施設利用頻度別でみると、「庁舎窓口機能（行政手続きの窓口など）」と「高齢者福祉機能」は、利用頻度が低くなるにつれ増加している。「スポーツ機能（体育館、室内プール、屋外運動場など）」と「集会機能（市民センター、コミュニティセンターなど）」は、利用頻度が低くなるにつれ低下している。

※次ページ参照

(%)

| 注) n30未満はコメント していない (3ページ参照)。 | | n | 庁舎窓口機能 (行政手続きの窓口 など) | 高齢者福祉 機能 | 子ども・子 育て機能 (保育園、 子どもセン ターなど) | 学校関連機 能(小・中学 校など) | 図書館・生 涯学習機能 | スポーツ機 能(体育 館、室内 プール、屋 外運動場な ど) | 集会機能 (市民セン ター、コ ミュニティ センターな ど) | 障がい福祉 機能 |
|-------------------------------------|----------|-----|----------------------------|-------------|--|-------------------------|----------------|---|---|-------------|
| 全 体 | | 963 | 58.2 | 43.2 | 40.6 | 34.6 | 31.7 | 27.9 | 21.3 | 20.7 |
| 性別 | 男性 | 389 | 56.0 | 39.3 | 38.0 | 34.2 | 28.0 | 29.0 | 22.4 | 18.8 |
| | 女性 | 546 | 60.1 | 45.2 | 41.9 | 34.8 | 34.4 | 27.7 | 20.9 | 21.1 |
| | 選択せず | 19 | 36.8 | 57.9 | 52.6 | 36.8 | 26.3 | 15.8 | 21.1 | 47.4 |
| 年代別 | 10歳代 | 27 | 48.1 | 25.9 | 40.7 | 44.4 | 29.6 | 59.3 | 11.1 | 33.3 |
| | 20歳代 | 52 | 53.8 | 25.0 | 53.8 | 57.7 | 30.8 | 26.9 | 9.6 | 25.0 |
| | 30歳代 | 81 | 46.9 | 22.2 | 67.9 | 51.9 | 37.0 | 30.9 | 14.8 | 13.6 |
| | 40歳代 | 156 | 50.0 | 35.9 | 46.8 | 48.1 | 37.2 | 41.7 | 16.7 | 16.7 |
| | 50歳代 | 219 | 59.8 | 49.3 | 33.8 | 34.2 | 27.9 | 26.0 | 15.5 | 26.5 |
| | 60歳代 | 218 | 64.7 | 47.7 | 39.0 | 27.5 | 29.4 | 21.6 | 29.4 | 19.7 |
| | 70歳代以上 | 207 | 61.8 | 52.7 | 30.9 | 18.8 | 32.4 | 21.3 | 29.5 | 18.8 |
| 公共施設 利用頻度別 | 週に1回以上 | 118 | 45.8 | 34.7 | 44.1 | 28.8 | 37.3 | 42.4 | 25.4 | 15.3 |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 55.0 | 35.5 | 40.8 | 33.6 | 40.3 | 32.7 | 24.2 | 18.0 |
| | 半年に数回程度 | 158 | 57.6 | 44.9 | 46.2 | 47.5 | 30.4 | 30.4 | 20.9 | 21.5 |
| | 1年に数回程度 | 276 | 62.0 | 46.7 | 39.9 | 36.6 | 27.9 | 23.9 | 19.6 | 22.5 |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 64.2 | 50.8 | 35.2 | 26.4 | 25.4 | 18.1 | 18.7 | 23.3 |

(%)

| 注) n30未満はコメント していない (3ページ参照)。 | | n | 文化・芸術 機能(文化 ホール施 設、美術 館など) | 公園機能 | 住宅機能 (市営住宅) | レクリエ ーション・観 光機能 | 産業系機能 (新産業創 造センター など) | その他 | 無回答 |
|-------------------------------------|----------|-----|--|------|----------------|-----------------------|--------------------------------|-----|-----|
| 全 体 | | 963 | 18.5 | 16.9 | 9.3 | 5.4 | 4.2 | 2.2 | 2.2 |
| 性別 | 男性 | 389 | 19.8 | 19.0 | 6.9 | 5.9 | 5.4 | 3.1 | 2.8 |
| | 女性 | 546 | 18.3 | 16.1 | 11.2 | 4.8 | 2.7 | 1.6 | 1.6 |
| | 選択せず | 19 | - | 5.3 | 5.3 | 5.3 | 10.5 | - | 5.3 |
| 年齢 | 10歳代 | 27 | 7.4 | 22.2 | 14.8 | 7.4 | 3.7 | - | 3.7 |
| | 20歳代 | 52 | 11.5 | 28.8 | 5.8 | 1.9 | 1.9 | - | 1.9 |
| | 30歳代 | 81 | 18.5 | 25.9 | 8.6 | 4.9 | 4.9 | - | 1.2 |
| | 40歳代 | 156 | 10.9 | 21.2 | 9.0 | 8.3 | 3.2 | 1.3 | 2.6 |
| | 50歳代 | 219 | 15.1 | 12.3 | 9.1 | 6.4 | 5.9 | 3.2 | 0.9 |
| | 60歳代 | 218 | 23.9 | 16.5 | 11.5 | 6.4 | 3.2 | 2.3 | 2.3 |
| | 70歳代以上 | 207 | 24.6 | 12.1 | 8.2 | 1.9 | 3.9 | 3.4 | 3.4 |
| 公共施設 利用頻度別 | 週に1回以上 | 118 | 24.6 | 22.9 | 5.1 | 5.9 | 5.1 | 2.5 | 3.4 |
| | 月に1-3回程度 | 211 | 23.7 | 19.0 | 9.5 | 3.8 | 3.3 | 2.4 | 2.4 |
| | 半年に数回程度 | 158 | 16.5 | 13.3 | 5.1 | 5.1 | 3.2 | 2.5 | 1.3 |
| | 1年に数回程度 | 276 | 15.6 | 17.0 | 11.2 | 5.4 | 4.7 | 1.4 | 1.8 |
| | 過去1年間非利用 | 193 | 14.5 | 14.0 | 13.0 | 7.3 | 4.1 | 2.6 | 2.1 |

◆居住地域別

- ・居住地域別でみると、「庁舎窓口機能（行政手続きの窓口など）」は相原地区が71.0%で最も高く、次いで鶴川地区が64.6%が続いている。
- ・「高齢者福祉機能」は小山田地区（58.1%）、小山地区（56.4%）が56%以上となっている。相原地区が32.3%で最も低く、小山田地区より25.8ポイント低い。

(%)

| 注)n30未満はコメント していない (3ページ参照)。 | n | 庁舎窓口機能 (行政手続きの窓口 など) | 高齢者福祉 機能 | 子ども・子 育て機能 (保育園、 子どもセン ターなど) | 学校関連機 能(小・中学 校など) | 図書館・生 涯学習機能 | スポーツ機 能(体育 館、室内 プール、屋 外運動場な ど) | 集会機能 (市民セン ター、コ ミュニティ センターな ど) | 障がい福祉 機能 |
|------------------------------------|-----|----------------------------|-------------|--|-------------------------|----------------|---|---|-------------|
| 全 体 | 963 | 58.2 | 43.2 | 40.6 | 34.6 | 31.7 | 27.9 | 21.3 | 20.7 |
| 居住地域別 | | | | | | | | | |
| 相原 | 31 | 71.0 | 32.3 | 38.7 | 35.5 | 29.0 | 19.4 | 25.8 | 16.1 |
| 小山 | 78 | 56.4 | 56.4 | 44.9 | 38.5 | 24.4 | 21.8 | 28.2 | 32.1 |
| 小山田 | 31 | 54.8 | 58.1 | 25.8 | 32.3 | 32.3 | 29.0 | 19.4 | 25.8 |
| 小野路 | 28 | 50.0 | 35.7 | 42.9 | 35.7 | 21.4 | 39.3 | 21.4 | 35.7 |
| 鶴川 | 161 | 64.6 | 41.0 | 35.4 | 36.0 | 36.0 | 24.2 | 21.1 | 12.4 |
| 三輪 | 23 | 39.1 | 39.1 | 39.1 | 34.8 | 34.8 | 43.5 | 21.7 | 13.0 |
| 忠生 | 124 | 58.1 | 47.6 | 40.3 | 29.0 | 25.0 | 23.4 | 26.6 | 21.0 |
| 町田 | 152 | 59.2 | 39.5 | 45.4 | 33.6 | 36.2 | 25.7 | 17.1 | 18.4 |
| 玉川学園 | 80 | 58.8 | 37.5 | 41.3 | 35.0 | 37.5 | 37.5 | 15.0 | 20.0 |
| 成瀬 | 95 | 55.8 | 38.9 | 37.9 | 32.6 | 29.5 | 31.6 | 17.9 | 26.3 |
| 南 | 153 | 54.2 | 45.1 | 43.1 | 37.9 | 32.0 | 30.1 | 22.2 | 20.9 |

| 注)n30未満はコメント していない (3ページ参照)。 | n | 文化・芸術 機能(文化 ホール施 設、美術 館など) | 公園機能 | 住宅機能 (市営住宅) | レクリエー ション・観 光機能 | 産業系機能 (新産業創 造センター など) | その他 | 無回答 |
|------------------------------------|-----|--|------|----------------|-----------------------|--------------------------------|-----|-----|
| 全 体 | 963 | 18.5 | 16.9 | 9.3 | 5.4 | 4.2 | 2.2 | 2.2 |
| 居住地域別 | | | | | | | | |
| 相原 | 31 | 19.4 | 16.1 | 25.8 | 6.5 | 12.9 | 3.2 | - |
| 小山 | 78 | 17.9 | 14.1 | 6.4 | 7.7 | 1.3 | - | - |
| 小山田 | 31 | 16.1 | 29.0 | 9.7 | 6.5 | - | 6.5 | 6.5 |
| 小野路 | 28 | 25.0 | 10.7 | 17.9 | - | - | - | 3.6 |
| 鶴川 | 161 | 19.3 | 13.7 | 8.1 | 5.0 | 2.5 | 2.5 | 4.3 |
| 三輪 | 23 | 17.4 | 8.7 | 4.3 | - | 4.3 | - | - |
| 忠生 | 124 | 19.4 | 14.5 | 12.1 | 10.5 | 6.5 | 3.2 | 0.8 |
| 町田 | 152 | 17.8 | 21.1 | 8.6 | 3.3 | 7.2 | 2.0 | 2.0 |
| 玉川学園 | 80 | 23.8 | 18.8 | 10.0 | 5.0 | 3.8 | 1.3 | 3.8 |
| 成瀬 | 95 | 16.8 | 17.9 | 6.3 | 4.2 | 3.2 | 5.3 | - |
| 南 | 153 | 15.7 | 19.0 | 8.5 | 5.2 | 2.6 | - | 2.6 |

(5) 町田市の公共施設について

問18 そのほか、町田市の公共施設について、これまでお答えいただいたこと以外に何かご意見があれば、ご記入ください。（自由記述）

注) 自由記述の回答数は302件あったが、複数分野について言及されている方もいたため、意見数の合計は全体の回答数とは一致しない。

| そのほか、町田市の公共施設について | 回答数 (n=302) |
|-----------------------------|----------------|
| 公共施設 | 132 |
| ペット対応公園/利用ルール/新規公園/森林・自然の確保 | 17 |
| 官民連携の考え方/透明性を担保した仕組みづくり | 14 |
| 公共施設の分散/地域差是正 | 12 |
| 災害用設備の充実/災害拠点としての役割 | 9 |
| 団地・空き施設・空地の活用 | 8 |
| 公共施設のあり方に対する意見・考え方 | 8 |
| 新規施設反対 | 8 |
| 高齢者のための運営/施設新設 | 8 |
| 廃校反対/慎重に進めるべき | 7 |
| 公共施設の利用ルールについて | 7 |
| 市外からの集客ができる運営 | 5 |
| 施設再編・統廃合の考え方 | 5 |
| 施設統廃合賛成 | 5 |
| 公共施設の維持・運営 | 4 |
| 予算に応じた部分修繕/無駄な修繕計画の見直し | 3 |
| アクセスが悪い施設がある/駅近の施設が必要 | 3 |
| 売却・貸与賛成 | 3 |
| 売却・貸与反対 | 2 |
| 古い公共施設は建て直すべき | 2 |
| 公共施設関連の情報開示が必要 | 2 |
| 市の運営に対する意見/考え方 | 120 |
| 都市計画・ビジョンの策定 | 19 |
| アンケート調査について | 12 |
| 市の運営に対する意見・考え方 | 10 |
| 子育て世帯が住みやすいように | 10 |
| AI/ロボット/テクノロジー導入推進 | 10 |
| 広報の改善/推進/案内配布 | 9 |
| 治安維持/外国人のマナー/繁華街について | 9 |
| 市役所等の受付対応/土日対応/時間延長等 | 6 |
| イベント・催し物の開催 | 6 |
| サッカー関連の支出を見直すべき | 5 |
| 職員の質向上・改善 | 4 |
| エコ/クリーンエネルギー/リサイクルについて | 4 |
| 清掃/美化 | 4 |
| ボランティアを活用すべき | 3 |
| 近隣自治体との連携 | 3 |
| 物価高対策/補助金 | 2 |
| ゴミ回収/ゴミ袋について | 2 |
| 地場特産品の活用 | 2 |
| 新規施設について | 84 |
| 子ども用施設・保育園・教育環境の確保 | 25 |
| 新規施設推進 | 21 |
| 図書館の新設/運営について | 10 |
| 多世代対応施設/見守り/交流の場 | 8 |
| 駅に隣接したサッカースタジアムの新設 | 6 |
| 病院の新設/運営について | 4 |
| モノレール延伸賛成 | 4 |
| モノレール延伸反対 | 3 |
| 映画館の新設 | 3 |
| 交通網の整備 | 40 |
| 道路整備/歩道等の整備 | 14 |
| コミュニティバス・スクールバス運行/交通網の整備 | 13 |
| 駐輪場・駐車場の整備 | 13 |

資料編

